

第 5 回

高等学校中途退学追跡調査結果報告書

令和 3 年 3 月

埼 玉 県 教 育 委 員 会

はじめに

5年前の前回調査のときと子供たちを取り巻く社会は大きく変わり、日々目まぐるしく変化しております。このような予測困難な社会の変化に対応するために、子供たち自らの力で道を切り拓いていける資質・能力の育成が大切です。本県では、「埼玉教育の振興に関する大綱」を踏まえ、「第3期埼玉県教育振興基本計画（平成31年度～令和5年度）」に沿って、その資質・能力を確実に伸ばす教育に取り組んでいます。

そのような教育に取り組む中で、中途退学は大きな問題であり、学校、家庭、地域と連携し、中途退学防止に努めてまいりました。その結果、令和元年度県内公立高等学校の中途退学者数は、1,333人で、全在学者に占める割合は1.1%と前回調査のときより減少しております。

本県の中途退学の状況をみますと、

- ・前回調査より2・3年生での中途退学者が増加傾向にある
- ・「友人等人間関係があわなかったから」又は「高校の生活があわなかったから」という理由が過半数を占めている
- ・中学時代不登校傾向でなかった者が約6割を占めている

という特徴が見られます。

各高等学校においては、校長のリーダーシップのもと、開かれた学校づくりを推進し、各高等学校教育の理解と中学校との連携を深め、将来を見据えた生きる力の育成に努めていっていただきたいと思っております。

本県も、一人でも多くの高校生が高等学校を卒業し、自分の力で道を切り拓き、幸福な人生を実現できるよう中途退学防止策を継続的に実施してまいります。

この報告書は、5年ぶりに実施した中途退学者の実態を把握するための中途退学追跡調査結果をまとめたものです。中途退学防止に関する基礎資料として、今後の高校生活における生徒指導や学習指導、中学校との連携に役立てながら活用いただきたいと存じます。

令和3年3月

埼玉県教育委員会教育長 高田 直芳

目次

第1章 中途退学の現状	1
1 本県公立高等学校及び全国公立高等学校の中途退学の状況	1
2 本県公立高等学校中途退学者の課程別中途退学率の推移	2
3 本県公立高等学校の学年別中途退学率	2
4 本県公立高等学校1年生の中途退学率及び中途退学者数の推移	3
5 本県公立高等学校における理由別の割合（令和元年度結果）	3
第2章 高等学校中途退学追跡調査について	4
第3章 調査結果について	6
■ 基本データ	
(1) 性別を教えてください。	6
(2) 高校を退学したときの学年を教えてください。	7
(3) 高校を退学した月を教えてください。	8
(4) 中途退学した高校の課程を教えてください。	9
(5) 中途退学した高校の学科を教えてください。	10
■ 現在の状況	
(6) 現在の状況について教えてください。	11
(7) 現在の状況は、高校を退学したときの希望どおりの状況ですか。	12
(8) 高校を退学したことについて現在どのように考えていますか。	13
(9) 現在学校に所属していない人に伺います。将来学校で学びたいと思いますか。	14
■ 高校入学前・入学後	
(10) あなたは、中学校時代に学校を休んだことがありますか。	15
(11) 中学時代、中学卒業後の進路をどのように考えていましたか。	16
(12) 中学校の進路指導に、どのようなことを望みますか。【複数回答可】	17
(13) 高校に進学した理由はどのようなものでしたか。【複数回答可】	18
(14) 入学する高校を決めるときに役立つことは何ですか。【複数回答可】	19
(15) 入学した高校は、志望した高校でしたか。	20
(16) 高校に入学したときの印象や状況はどのようなものでしたか。【複数回答可】	21

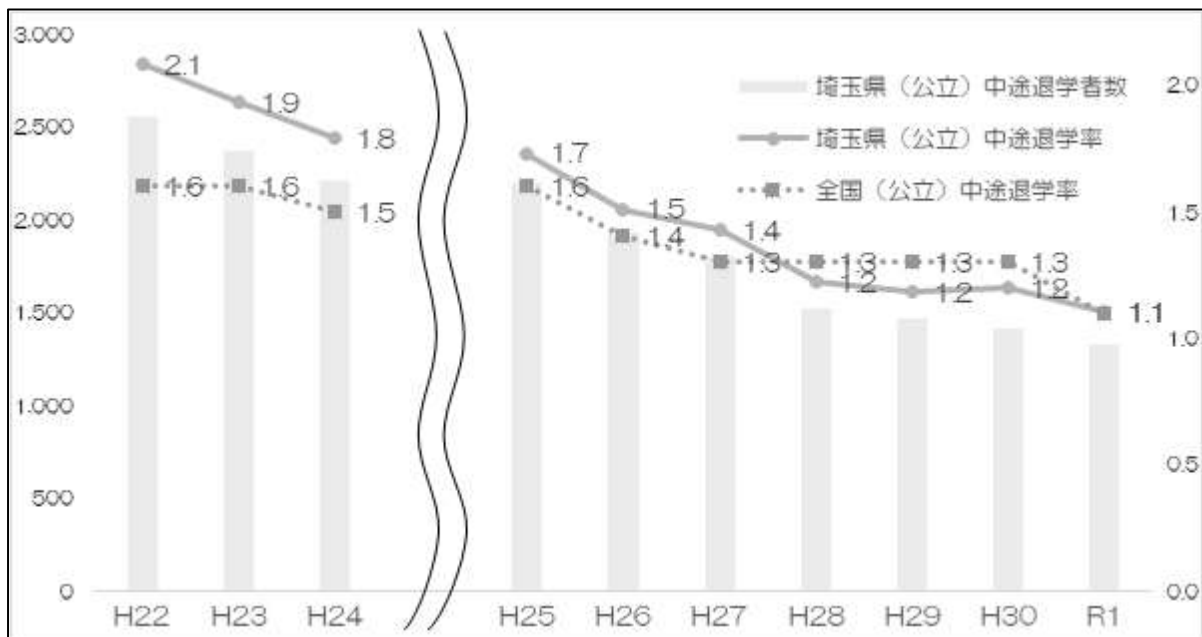
(17)	高校生活の中で楽しかったことは何ですか。【複数回答可】	22
(18)	高校の授業の内容についてどう思いましたか。	23
(19)	在学していた高校で心を打ち明けて相談できる人は以下の中にいましたか。 【複数回答可】	24
(20)	高校の校則やきまりはどうでしたか。	25
■	高校をやめるにあたって	
(21)	在学中に高校を退学することについてどのように考えていましたか。	26
(22)	高校を退学することに決めた一番の理由を、次の中から一つだけあげてください。	27
(23)	二番目の理由を、次の中から一つだけあげてください。	28
(24)	高校を退学することについて誰かに相談しましたか。	29
(25)	(24)の質問で「した」と回答した人に伺います。誰と相談しましたか。 【複数回答可】	30
(26)	高校を退学した時点では、その後のことについてどのように考えていましたか。 次の中から一つだけあげてください。	31
(27)	高校を退学前は、高校卒業の資格は必要だと考えましたか。	32
■	高校を退学してから	
(28)	高校を退学した後は、高校卒業の資格は必要だと考えましたか。	33
(29)	高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望みますか。【複数回答可】	34
(30)	中途退学を考えたときに、学校に支援してほしいことが以下の中にありますか。 【複数回答可】	35
(31)	高校を退学したあと、自分の進路について、誰かに相談しましたか。	36
(32)	(31)の質問で「した」と回答した人に伺います。誰と相談しましたか。 【複数回答可】	37
(33)	(31)の質問で、「しなかった」と答えた方のみお答えください。 なぜ相談しなかったのですか。次の中から一つだけあげてください。	38
(34)	現在のあなたにとって必要なことは何ですか。【複数回答可】	39
第4章	調査結果から	40
■	分析<中途退学後の現在の状況と各質問項目との相関について>	
■	分析<分析<相談状況について>	
■	分析<分析<高校生活について>	
■	分析<分析<授業・学習支援について>	
■	分析<中学校時代不登校傾向の者と各質問項目との相関について>	

第1章 中途退学の現状

1 本県公立高等学校及び全国公立高等学校の中途退学の状況

本県公立高等学校の中途退学率（百分率）は、調査開始（昭和57年度）以降平成5年度まで全国平均値とほぼ同水準であったが、平成6年度以降上昇し、全国平均値を上回って推移してきた。

平成22年度の本県の中途退学率は2.1%で、全国平均値との差は、0.7ポイントあった。しかし、中途退学防止に関する施策と学校のきめ細かな指導、取組により、令和元年度の中途退学率は1.1%となり、全国公立高等学校の中途退学率と同率の1.1%となった。



2 本県公立高等学校中途退学者の課程別中途退学率の推移

平成18年度の本県全日制の中途退学率は2.4%で、全国平均値より0.8ポイント高かったが、近年5年間は全国平均値を上回っているがその差は0.1ポイントから0.2ポイント差で推移している。本県定時制の中途退学率は平成25年度に全国平均値を下回り、令和元年度まで継続して全国平均を下回っている。近年5年間では平成30年度が一番低く7.2%で、今年度は7.7%と0.5ポイント上昇している。



3 本県公立高等学校の学年別中途退学率

全日制、定時制ともに1年生の中途退学率が他学年と比較し高い。

令和元年度

全日制

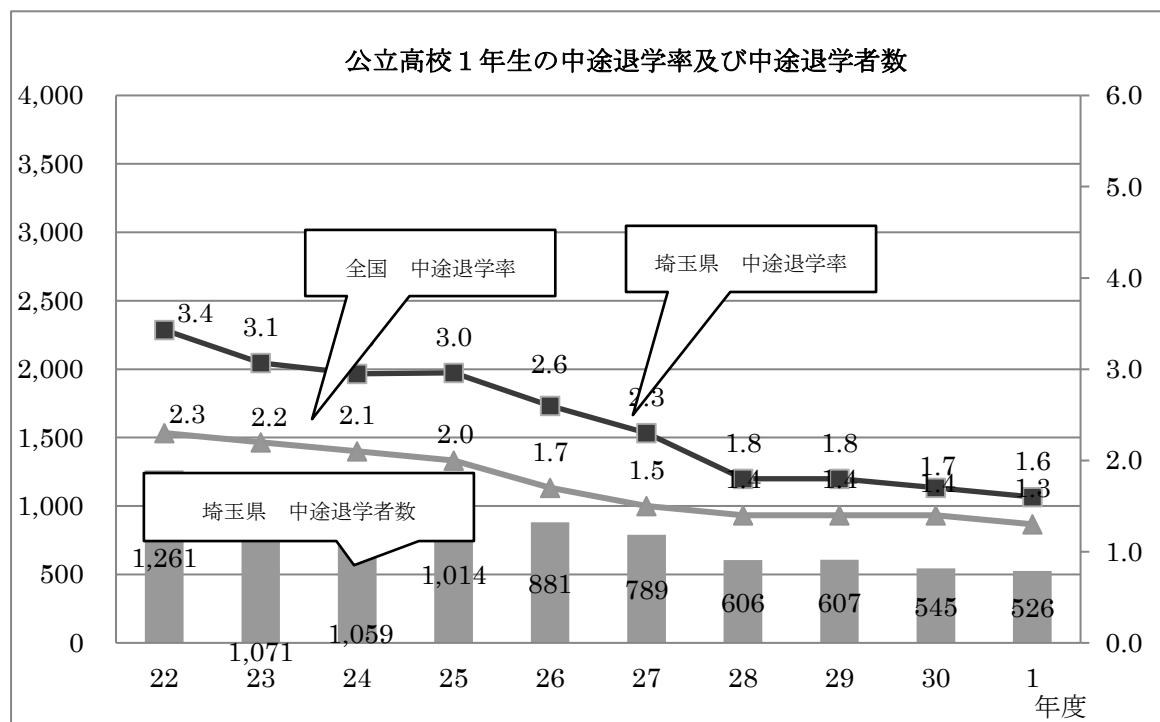
1年	2年	3年	単位制
456	300	94	116

定時制

1年	2年	3年	4年	単位制
65	29	23	9	208

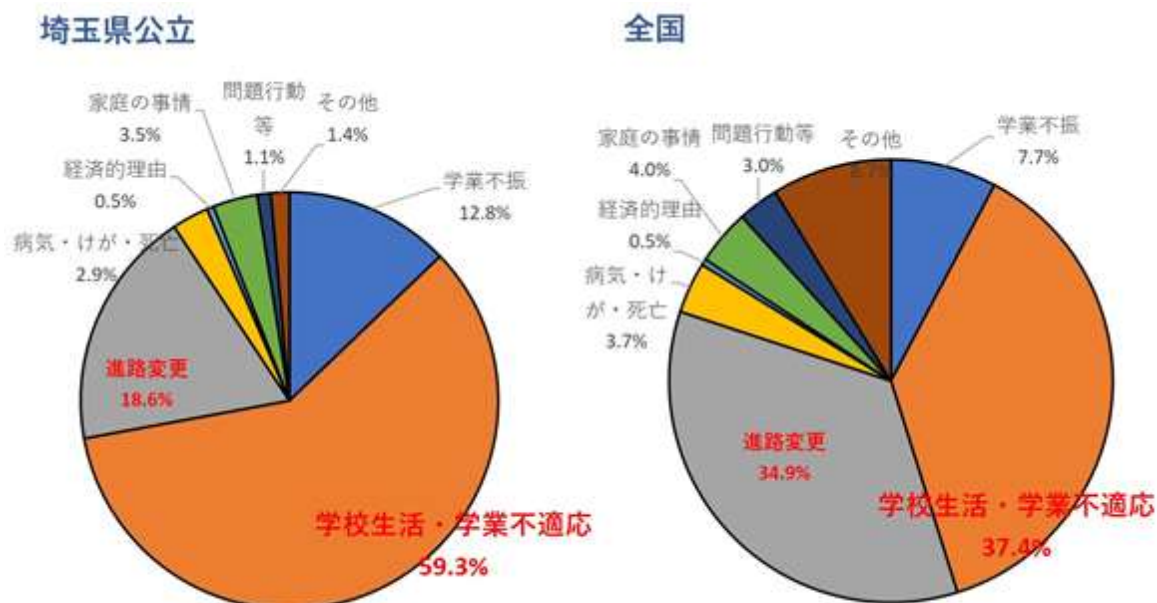
4 本県公立高等学校1年生の中途退学率及び中途退学者数の推移

平成26年度の本県公立高等学校1年生の中途退学率は2.6%で、平成18年度以降低下している。しかし、全国平均値と比較すると、高い状況が続いている。



5 本県公立高等学校における理由別の割合（令和元年度結果）

「学業不振」は12.8%、「学校生活・学業不適合」は59.3%、「進路変更」は18.6%、「学校生活・学業不適合」の割合が全体の半分以上を占め、全国と比較しても高い状況にある。



第2章 高等学校中途退学追跡調査について

1 趣旨

県立高等学校を中途退学した者に対して、中途退学に至った理由やその後の状況等について調査し、今後の指導の在り方や施策展開の参考とする。

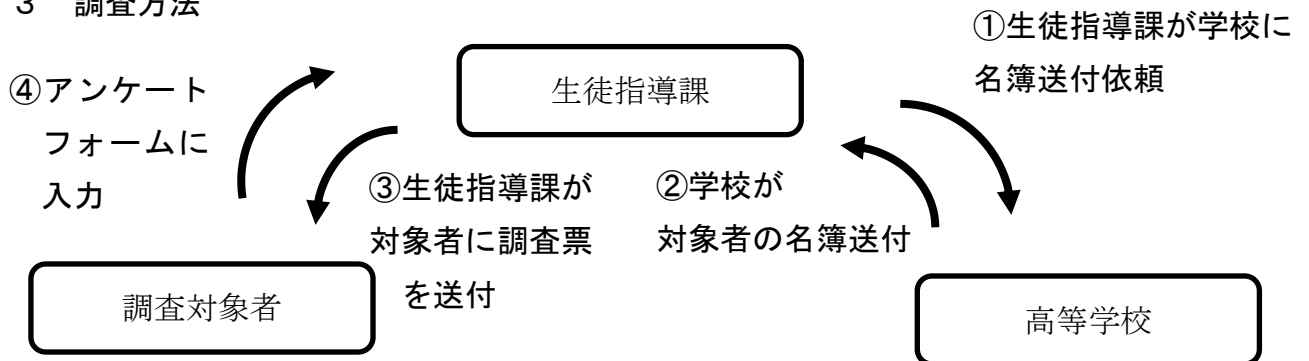
※過去に平成12年度、17年度、22年度、27年度に調査を実施しており、5年ぶりの調査となる。

2 調査対象

令和元年度中に県立高等学校を中途退学した者を対象とする。

対象者		1 3 3 3 人 (令和元年度県立高等学校中途退学者)
送付者	全日制	9 3 3 人
	定時制	3 0 1 人
	通信制	1 9 人
	計	1 2 5 3 人
住所不明により返還		7 3 人

3 調査方法



4 有効回答率

令和2年11月に対象者宛てアンケート調査票を送付し、令和2年11月～12月にかけて回収した。

回答者数	1 4 0 人
有効回答数	1 4 0
有効回答率	1 1 . 9 % (回答者数[1 4 0] ÷ 送付数[1 1 8 0]))

(参考 平成27年度 1 4 . 4 %)

5 過去の調査との比較

中途退学者に対する追跡調査は過去に3回行っており、今回の調査は5年ぶりとなる。

	12年度調査	17年度調査	22年度調査	27年度調査	2年度調査
実施時期	電話：9月～10月 郵送：10月～11月 面接：11月～1月	電話：10月～11月 郵送：12月	郵送：10月～11月	郵送：10月～1月	郵送：11月～12月
対象	中途退学後3年以内の者 (平成9・10・11年度中途退学者)	中途退学後1年以内の者 (平成16年度中途退学者)	中途退学後1年以内の者 (平成21年度中途退学者)	中途退学後1年以内の者 (平成26年度中途退学者)	中途退学後1年以内の者 (令和元年度中途退学者)
回答数	電話： 全日制 828人 定時制 195人 合計 1,023人 各年度 2人程度	電話： 全日制 684人 定時制 98人 合計 782人 全日制 6人程度 定時制 3人程度			
	郵送： 166人	郵送： 105人	郵送： 351人 (うち無回答2人) 回答率 14.0%	郵送： 全日制 199人 定時制 58人 通信制 3人 不明 6人 合計 266人 回答率 14.4%	アンケートフォーム： 全日制 115人 定時制 23人 通信制 2人 合計 140人 回答率 11.8%
	面接： 22人				
質問数	35問	50問	31問	34問	35問

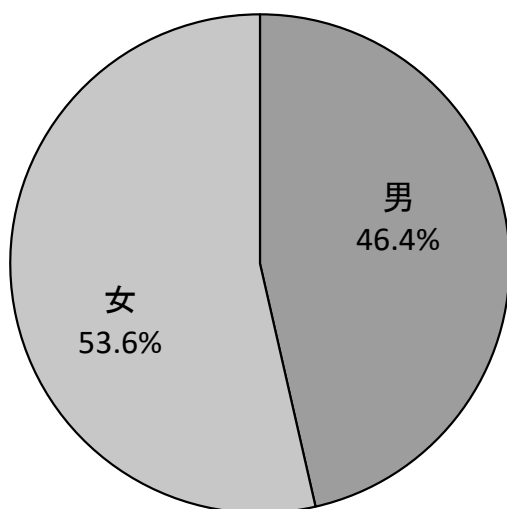
第3章 調査結果について

調査結果

■ 基本データ

(1) 性別を教えてください。

		男	女	不明・無回答	合計
R2	人数(人)	65	75	0	140
	割合(%)	46.4%	53.6%	0.0%	100%



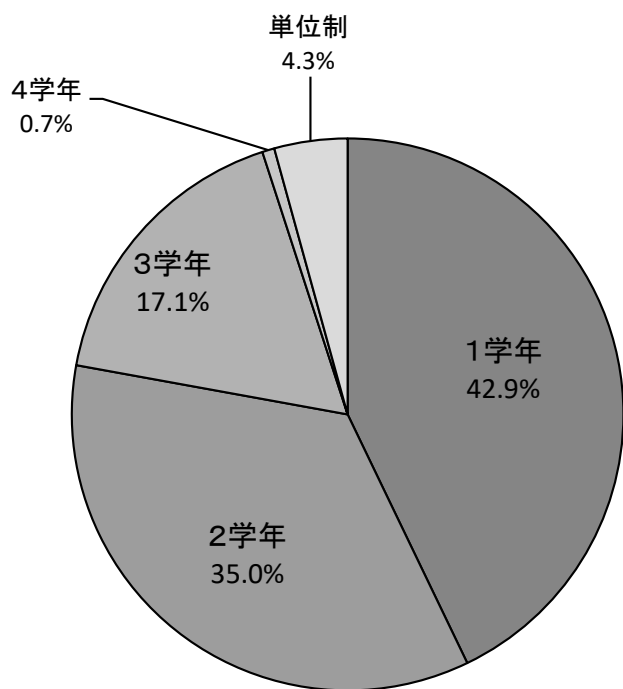
- ・ 回答数に占める男女比は
男子が 46.4%
女子が 53.6%
となっている。
- ・ 女子の回答数が男子を上回っている。

〈参考〉 R2 以前の調査データ

		男	女	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	575	448	0	1023
	割合(%)	56.2%	43.8%	0%	100%
H17	人数(人)	396	386	0	782
	割合(%)	50.6%	49.4%	0%	100%
H22	人数(人)	181	168	2	351
	割合(%)	51.6%	47.9%	0.6%	100%
H27	人数(人)	138	120	8	266
	割合(%)	51.9%	45.1%	3.0%	100%

(2) 高校を退学したときの学年を教えてください。

		1学年	2学年	3学年	4学年	単位制	不明・無回答	合計
R2	人数(人)	60	49	24	1	6	0	140
	割合(%)	42.9%	35.0%	17.1%	0.7%	4.3%	0.0%	100%



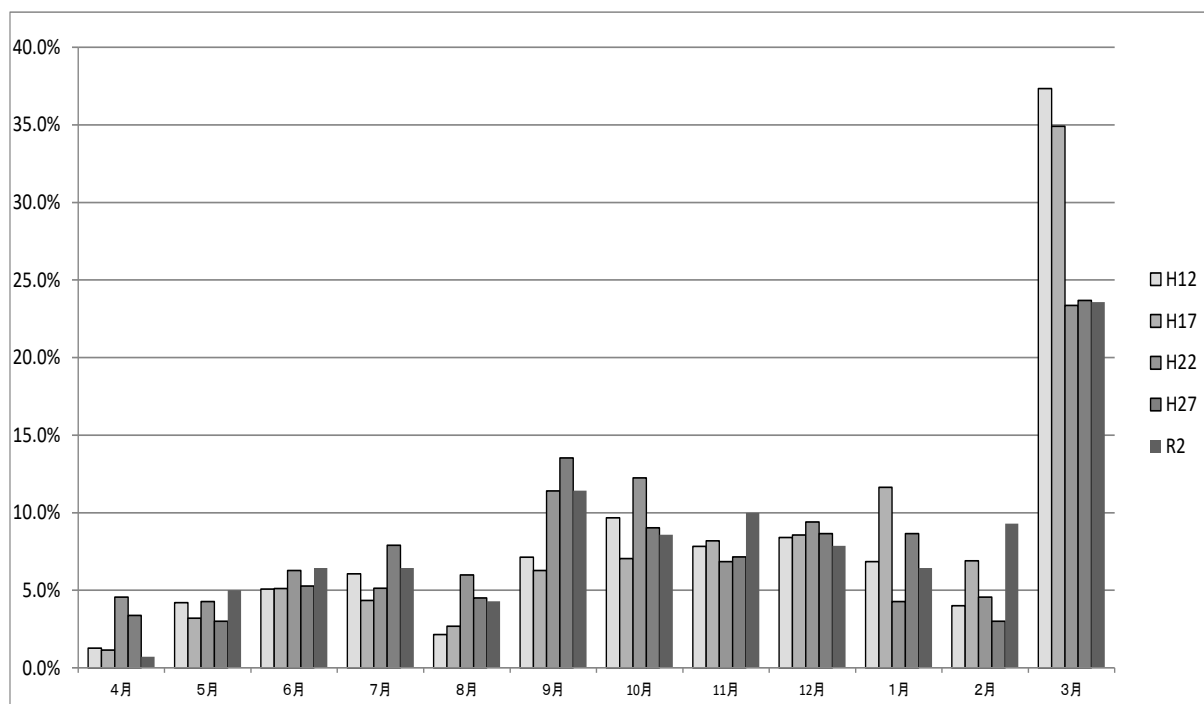
- ・ 今回の調査の回答者のうち、42.9%が1年生である。

〈参考〉 R2 以前の調査データ

		1学年	2学年	3学年	4学年	単位制	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	499	391	129	4	0	0	1023
	割合(%)	48.8%	38.2%	12.6%	0.4%	0.0%	0.0%	100%
H17	人数(人)	395	291	78	5	13	0	782
	割合(%)	50.5%	37.2%	10.0%	0.6%	1.7%	0.0%	100%
H22	人数(人)	217	102	24	1	5	2	351
	割合(%)	61.8%	29.1%	6.8%	0.3%	1.4%	0.6%	100%
H27	人数(人)	167	69	22	2	2	4	266
	割合(%)	62.8%	25.9%	8.3%	0.8%	0.8%	1.5%	100%

(3) 高校を退学した月を教えてください。

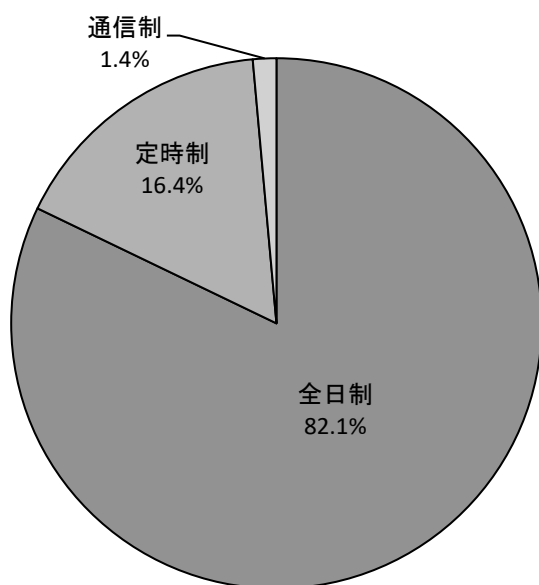
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	13	43	52	62	22	73	99	80	86	70	41	382	0	1023
	割合(%)	1.3%	4.2%	5.1%	6.1%	2.2%	7.1%	9.7%	7.8%	8.4%	6.8%	4.0%	37.3%	0.0%	100%
H17	人数(人)	9	25	40	34	21	49	55	64	67	91	54	273	0	782
	割合(%)	1.2%	3.2%	5.1%	4.3%	2.7%	6.3%	7.0%	8.2%	8.6%	11.6%	6.9%	34.9%	0.0%	100%
H22	人数(人)	16	15	22	18	21	40	43	24	33	15	16	82	6	351
	割合(%)	4.6%	4.3%	6.3%	5.1%	6.0%	11.4%	12.3%	6.8%	9.4%	4.3%	4.6%	23.4%	1.7%	100%
H27	人数(人)	9	8	14	21	12	36	24	19	23	23	8	63	6	266
	割合(%)	3.4%	3.0%	5.3%	7.9%	4.5%	13.5%	9.0%	7.1%	8.6%	8.6%	3.0%	23.7%	2.3%	100%
R2	人数(人)	1	7	9	9	6	16	12	14	11	9	13	33	0	140
	割合(%)	0.7%	5.0%	6.4%	6.4%	4.3%	11.4%	8.6%	10.0%	7.9%	6.4%	9.3%	23.6%	0.0%	100%



- ・ 中途退学者全体に占める4月～8月（入学～夏休み）までの割合は22.9%である。
- ・ 年度末の「3月」に退学する者の割合は23.6%と最も高い。次いで、「9月」に退学する者の割合が11.4%、「11月」に退学する者の割合が10.0%である。

(4) 中途退学した高校の課程を教えてください。

		全日制	定時制	通信制	不明・無回答	合計
R2	人数(人)	115	23	2	0	140
	割合(%)	82.1%	16.4%	1.4%	0.0%	100%



- ・ 回答者の82.1%が全日制の生徒である。
- ・ 前回調査結果と比較し、定時制の回答率が低い。

〈参考〉 R2 以前の調査データ

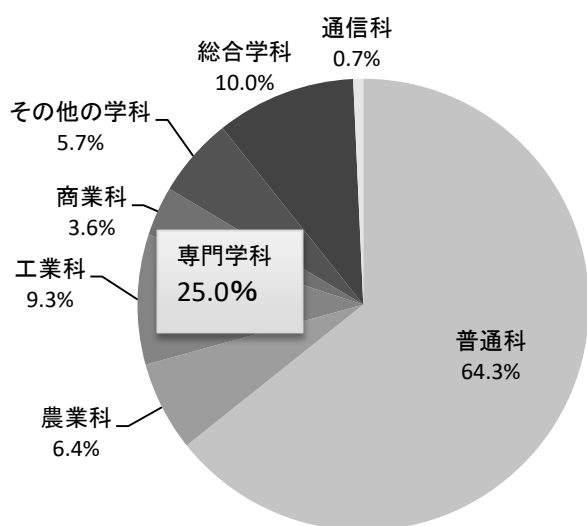
		全日制	定時制	通信制	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	828	195		0	1023
	割合(%)	80.9%	19.1%		0.0%	100%
H17	人数(人)	684	98		0	782
	割合(%)	87.5%	12.5%		0.0%	100%
H22	人数(人)	270	72		9	351
	割合(%)	76.9%	20.5%		2.6%	100%
H27	人数(人)	199	58	3	6	266
	割合(%)	74.8%	21.8%	1.1%	2.3%	100%

前回調査から「通信制」の回答項目を加えた

(5) 中途退学した高校の学科を教えてください。

		普通科	専門学科	総合学科	通信制	不明・無回答	合計
R2	人数(人)	90	35	14	1	0	140
	割合(%)	64.3%	25.0%	10.0%	0.7%	0.0%	100%

		農業科	工業科	商業科	その他の学科	合計
専門学科 内訳	人数(人)	9	13	5	8	35
	割合(%)	6.4%	9.3%	3.6%	5.7%	25.0%



- 回答者の学科別内訳は

普通科	64.3%
専門学科	13.2%
総合学科	5.3%
通信制	0.4%

 である。
- 専門学科の内訳は、

農業科	6.4%
工業科	9.3%
商業科	3.6%
その他の専門学科	5.7%

 である。
- 工業科の中退率が他の専門学科と比較し高い。

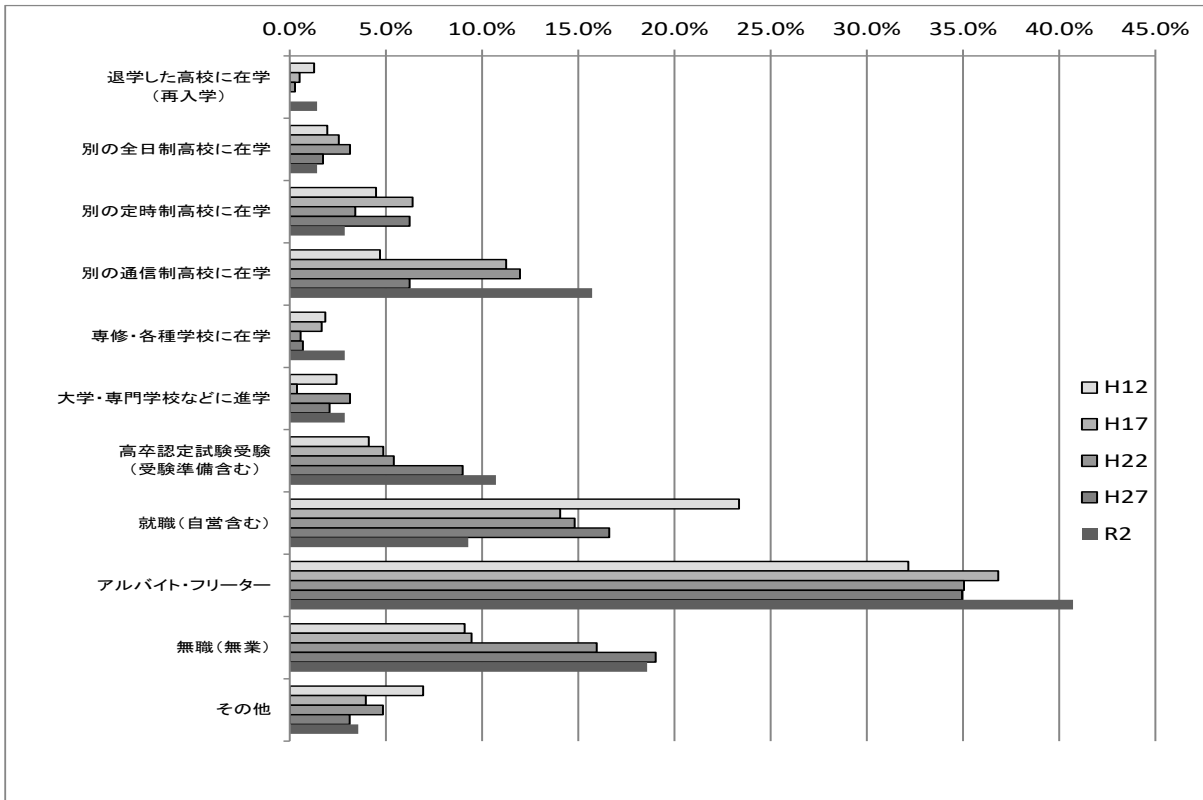
〈参考〉 R2 以前の調査データ

	普通科	専門学科	総合学科	通信制	その他・無回答	合計
H12	773	235	15		0	1023
	75.6%	23.0%	1.5%		0.0%	100%
H17	570	195	17		0	782
	72.9%	24.9%	2.2%		0.0%	100%
H22	224	99	24		4	351
	63.8%	28.2%	6.8%		1.1%	100%
H27	169	71	19	3	4	266
	63.5%	26.7%	7.1%	1.1%	1.5%	100%

■ 現在の状況

(6) 現在の状況について教えてください。

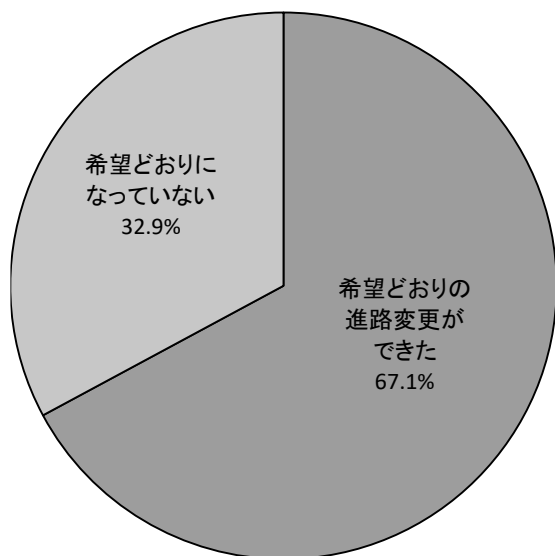
		退学した高校に在学 (再入学)	別の全日制高校に在学	別の定時制高校に在学	別の通信制高校に在学	専修・各種学校に在学	大学・専門学校などに進学	高卒認定試験受験(受験準備含む)	就職(自営含む)	アルバイト・フリーター	無職(無業)	その他	不明 無回答
H12	人数(人)	13	20	46	48	19	25	42	239	329	93	71	78
	割合(%)	1.3%	2.0%	4.5%	4.7%	1.9%	2.4%	4.1%	23.4%	32.2%	9.1%	6.9%	7.6%
H17	人数(人)	4	20	50	88	13	3	38	110	288	74	31	63
	割合(%)	0.5%	2.6%	6.4%	11.3%	1.7%	0.4%	4.9%	14.1%	36.8%	9.5%	4.0%	8.1%
H22	人数(人)	1	11	12	42	2	11	19	52	123	56	17	5
	割合(%)	0.3%	3.1%	3.4%	12.0%	0.6%	3.1%	5.4%	14.8%	35.0%	16.0%	4.8%	1.4%
H27	人数(人)	0	5	18	18	2	6	26	48	101	55	9	1
	割合(%)	0.0%	1.7%	6.2%	6.2%	0.7%	2.1%	9.0%	16.6%	34.9%	19.0%	3.1%	0.3%
R2	人数(人)	2	2	4	22	4	4	15	13	57	26	5	0
	割合(%)	1.4%	1.4%	2.9%	15.7%	2.9%	2.9%	10.7%	9.3%	40.7%	18.6%	3.6%	0.0%



- ・ 「アルバイト・フリーター」と回答した割合は40.7%と最も高く、全体の4割を占めている。以下、「無職(無業)」、「別の通信制高校に在学」の順に多い。
- ・ 「無職(無業)」と回答した割合は18.6%で、前回調査から高い傾向にある。
- ・ 「別の通信制高校に在学」、「高卒認定試験受験(受験準備含む)」の割合が上昇傾向にある。
- ・ その他の回答には、「芸能活動」「留学」等があった。

(7) 現在の状況は、高校を退学したときの希望どおりの状況ですか。

		希望どおりの進路変更ができた	希望どおりに なっていない	不明 無回答	合計
R2	人数(人)	94	46	0	140
	割合(%)	67.1%	32.9%	0.0%	100%



- ・ 「希望どおりの進路変更ができた」と回答した割合は67.1%である。

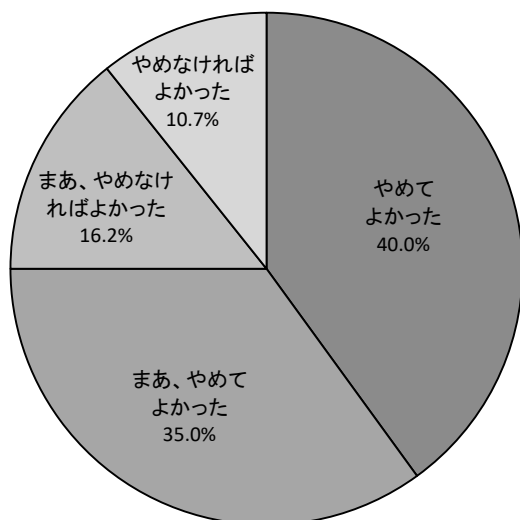
〈参考〉 R2 以前の調査データ

		希望どおりの進路変更ができた	希望どおりに なっていない	よくわからない	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	69	29	67	1	166
	割合(%)	41.6%	17.5%	40.4%	0.6%	100%
H17	人数(人)	38	23	37	7	105
	割合(%)	36.2%	21.9%	35.2%	6.7%	100%
H22	人数(人)	120	86	139	6	351
	割合(%)	34.2%	24.5%	39.6%	1.7%	100%
H27	人数(人)	176	85		5	266
	割合(%)	66.2%	32.0%		1.9%	100%

前回の調査から「よくわからない」の回答項目を削除した

(8) 高校を退学したことについて現在どのように考えていますか。

		やめて よかった	まあ、やめて よかった	まあ、やめな ければよかった	やめなければ よかった	不明・ 無回答	合計
R2	人数(人)	56	49	20	15	0	140
	割合(%)	40.0%	35.0%	14.3%	10.7%	0.0%	100%



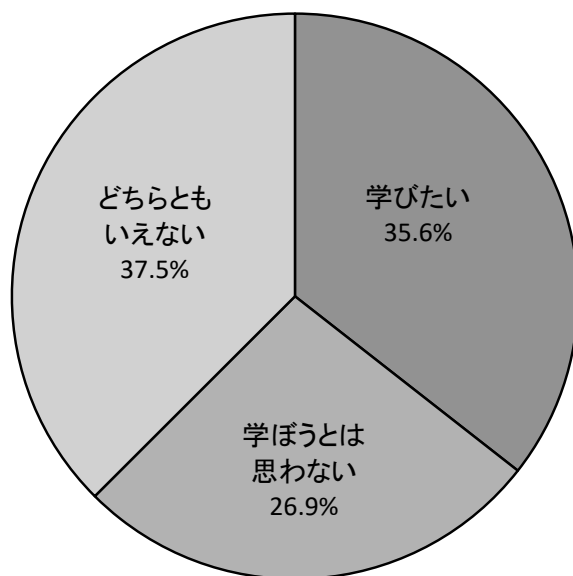
- ・ 「やめてよかった」と回答した割合は40.0%である。
- ・ 「まあ、やめてよかった」と回答した割合は35.0%である。

〈参考〉 R2 以前の調査データ

		やめて よかった	まあ、やめて よかった	まあ、やめな ければよかった	やめなければ よかった	不明・ 無回答	合計
H12	人数(人)	—	—	—	—	—	—
	割合(%)	34.9%	30.7%	10.2%	19.9%	4.2%	100%
H17	人数(人)	31	30	24	15	5	105
	割合(%)	29.5%	28.6%	22.9%	14.3%	4.8%	100%
H22	人数(人)	101	70	36	70	74	351
	割合(%)	28.8%	19.9%	10.3%	19.9%	21.1%	100%
H27	人数(人)	90	87	43	32	14	266
	割合(%)	33.8%	32.7%	16.2%	12.0%	5.3%	100%

(9) 現在学校に所属していない人に伺います。将来学校で学びたいと思いますか。

		学びたい	学ぼうとは思わない	どちらとも いえない	不明・ 無回答	合計
R2	人数(人)	37	28	39	0	104
	割合(%)	35.6%	26.9%	37.5%	0.0%	100%



- ・ 「学びたい」と回答した割合は、18.4%である。
- ・ 「学びたい」と回答した割合は過去の調査と比較し、低下している。

〈参考〉 R2 以前の調査データ

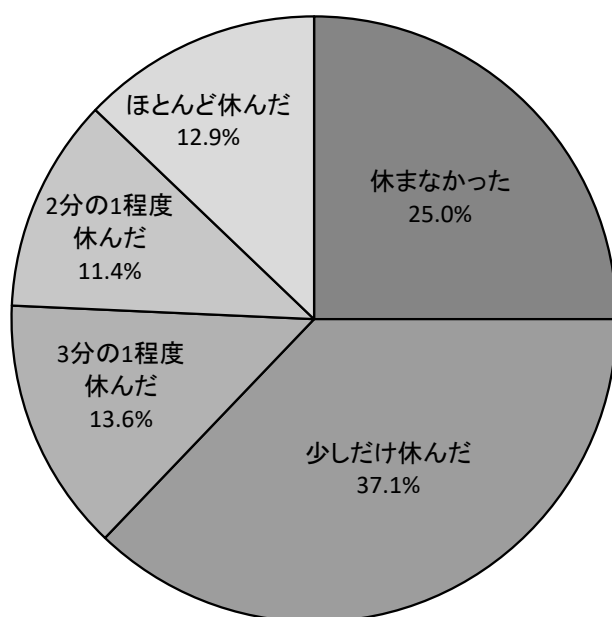
		学びたい	学ぼうとは思わない	どちらとも いえない	不明・ 無回答	合計
H12	人数(人)	54	40		72	166
	割合(%)	32.5%	24.1%		43.4%	100%
H17	人数(人)	39	41		25	105
	割合(%)	37.1%	39.0%		23.8%	100%
H22	人数(人)	89	93	78	91	351
	割合(%)	25.4%	26.5%	22.2%	25.9%	100%
H27	人数(人)	49	93	67	57	266
	割合(%)	18.4%	35.0%	25.2%	21.4%	100%

■ 高校入学前・入学後

(10) あなたは、中学校時代に学校を休んだことがありますか。

		休まな かった	少しだけ 休んだ	3分の1程 度休んだ	2分の1程 度休んだ	ほとんど 休んだ	不明 無回答	合計
H27	人数(人)	64	109	41	18	26	8	266
	割合(%)	24.1%	41.0%	15.4%	6.8%	9.8%	3.0%	100%
R2	人数(人)	35	52	19	16	18	0	140
	割合(%)	25.0%	37.1%	13.6%	11.4%	12.9%	0.0%	100%

← 37.9% →

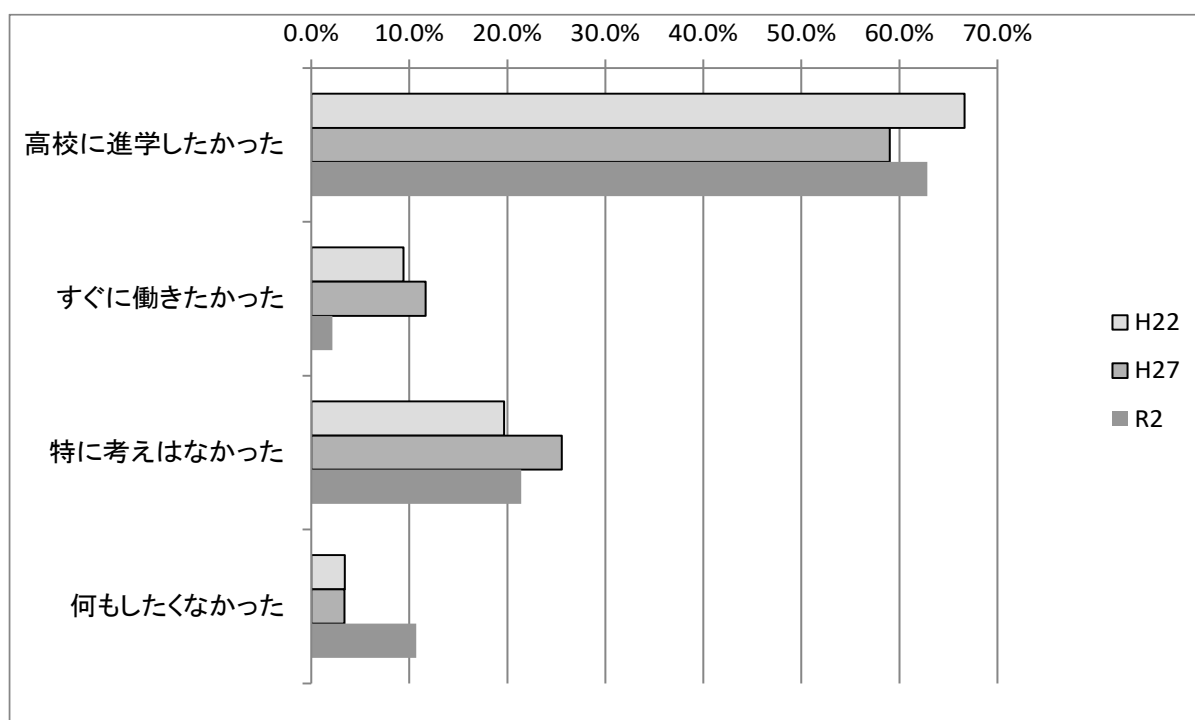


- ・ 「3分の1程度休んだ」「2分の1程度休んだ」「ほとんど休んだ」（中学時代の不登校傾向）と回答した割合は合計で37.9%であり、前回調査（合計32.0%）から上昇している。

前回調査からの質問である

(11) 中学時代、中学卒業後の進路をどのように考えていましたか。

		高校に進学したかった	すぐに働きたかった	特に考えはなかった	何もしたくなかった	その他	不明 無回答	合計
H22	人数(人)	234	33	69	12	-	3	351
	割合(%)	66.7%	9.4%	19.7%	3.4%		0.9%	100%
H27	人数(人)	157	31	68	9	-	1	266
	割合(%)	59.0%	11.7%	25.6%	3.4%		0.4%	100%
R2	人数(人)	88	3	30	15	4	0	140
	割合(%)	62.9%	2.1%	21.4%	10.7%	2.9%	0.0%	100%

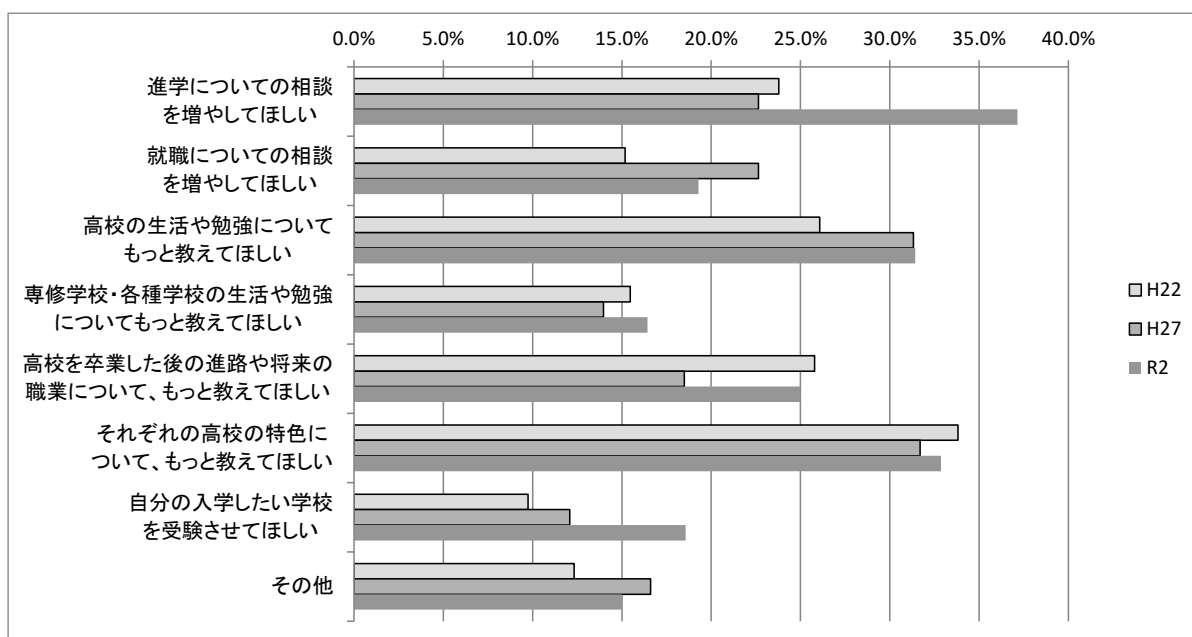


- ・ 「高校に進学したかった」と回答した割合は62.9%である。
- ・ 「特に考えはなかった」と回答した割合は21.4%である
- ・ 「何もしたくなかった」と回答した割合は10.7%である。

(12) 中学校の進路指導に、どのようなことを望みますか。【複数回答可】

		進学についての相談を増やしてほしい	就職についての相談を増やしてほしい	高校の生活や勉強についてもっと教えてほしい	専修学校・各種学校の生活や勉強についてもっと教えてほしい	高校を卒業した後の進路や将来の職業について、もっと教えてほしい	それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい	自分の入学したい学校を受験させてほしい	その他
H22	人数(人)	83	53	91	54	90	118	34	43
	割合(%)	23.8%	15.2%	26.1%	15.5%	25.8%	33.8%	9.7%	12.3%
H27	人数(人)	60	60	83	37	49	84	32	44
	割合(%)	22.6%	22.6%	31.3%	14.0%	18.5%	31.7%	12.1%	16.6%
R2	人数(人)	52	27	44	23	35	46	26	21
	割合(%)	37.1%	19.3%	31.4%	16.4%	25.0%	32.9%	18.6%	15.0%

*回答者に占める割合を示す



- ・ 「進学についての相談をふやしてほしい」と回答した割合は、37.1%と最も高い。以下、「それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい」(32.9%)、「高校の生活や勉強についてもっと教えてほしい」(31.4%)の順に高い。
- ・ 「就職についての相談を増やしてほしい」と回答した割合は19.3%である。
- ・ 「その他」の回答には、「個性を生かせる場所を教えてほしい」、「特にない」等があった。

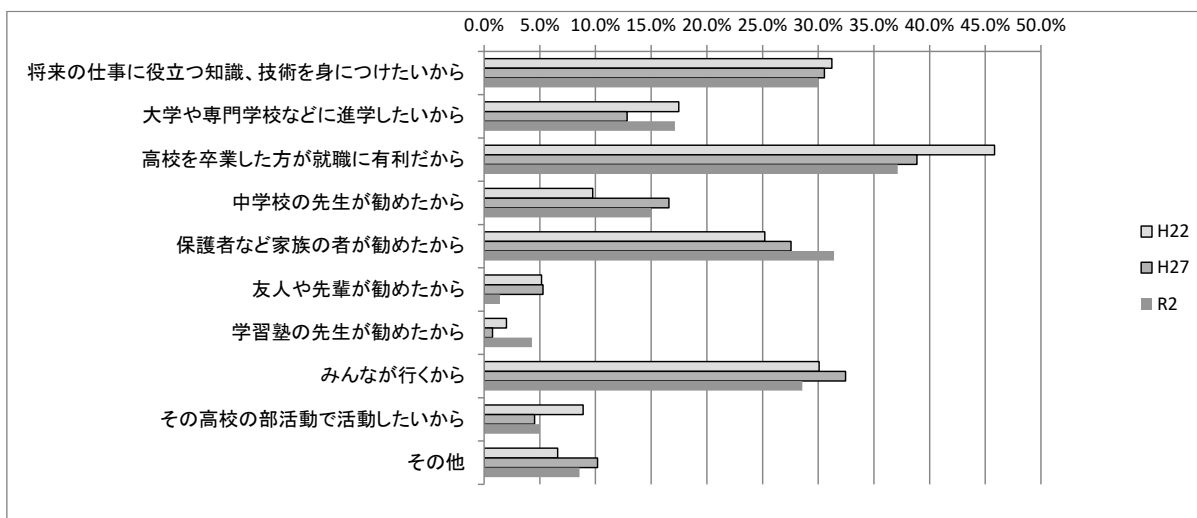
〈参考〉R2以前の調査データ

		進学についての相談を増やしてほしい	就職についての相談を増やしてほしい	将来の職業について、もっと教えてほしい	高校の生活や勉強についてもっと教えてほしい	専修学校・各種学校の生活や勉強についてもっと教えてほしい	就職先のことについて、もっと教えてほしい	高校を卒業した後の進路や将来の職業について、もっと教えてほしい	将来の生き方について、もっと教えてほしい	それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい	自分の入学したい学校を受験させてほしい	その他
H12	人数(人)	32	33	50	49	37	20	36	53	46	31	22
	割合(%)	19.3%	8.1%	12.2%	12.0%	9.0%	4.9%	8.8%	13.0%	11.2%	7.6%	5.4%
H17	人数(人)	30	18	41	44	29	8	28	26	37	15	7
	割合(%)	28.6%	6.4%	14.5%	15.5%	10.2%	2.8%	9.9%	9.2%	13.1%	5.3%	2.5%
H22	人数(人)	83	53	91	54	90	118	34	43	33.8%	9.7%	12.3%
	割合(%)	23.8%	15.2%	26.1%	15.5%	25.8%	33.8%	9.7%	12.3%	31.7%	12.1%	16.6%
H27	人数(人)	60	60	83	37	49	84	32	44	22.6%	22.6%	31.3%
	割合(%)	22.6%	22.6%	31.3%	14.0%	18.5%	31.7%	12.1%	16.6%	22.6%	22.6%	31.3%

(13) 高校に進学した理由はどのようなものでしたか。【複数回答可】

		将来の仕事に役立つ知識、技術を身につけたいから	大学や専門学校などに進学したいから	高校を卒業した方が就職に有利だから	中学校の先生が勧めたから	保護者など家族の者が勧めたから	友人や先輩が勧めたから	学習塾の先生が勧めたから	みんなが行くから	その高校の部活動で活動したいから	その他
H22	人数(人)	109	61	160	34	88	18	7	105	31	23
	割合(%)	31.2%	17.5%	45.8%	9.7%	25.2%	5.2%	2.0%	30.1%	8.9%	6.6%
H27	人数(人)	81	34	103	44	73	14	2	86	12	27
	割合(%)	30.6%	12.8%	38.9%	16.6%	27.5%	5.3%	0.8%	32.5%	4.5%	10.2%
R2	人数(人)	42	24	52	21	44	2	6	40	7	12
	割合(%)	30.0%	17.1%	37.1%	15.0%	31.4%	1.4%	4.3%	28.6%	5.0%	8.6%

*回答者に占める割合を示す



- ・ 「保護者など家族の者が勧めたから」と回答した割合は31.4%と、前回調査と比較し、上昇している。
- ・ 「高校を卒業した方が就職に有利だから」と回答した割合は37.1%である。
- ・ 「将来の仕事に役立つ知識、技術を身につけたいから」と回答した割合は30.0%である。
- ・ 「その他」の回答には、「偏差値的に」「中学校に通えなかったので高校で学校生活を送りたかった」「家から近い」「何となく」等があった。

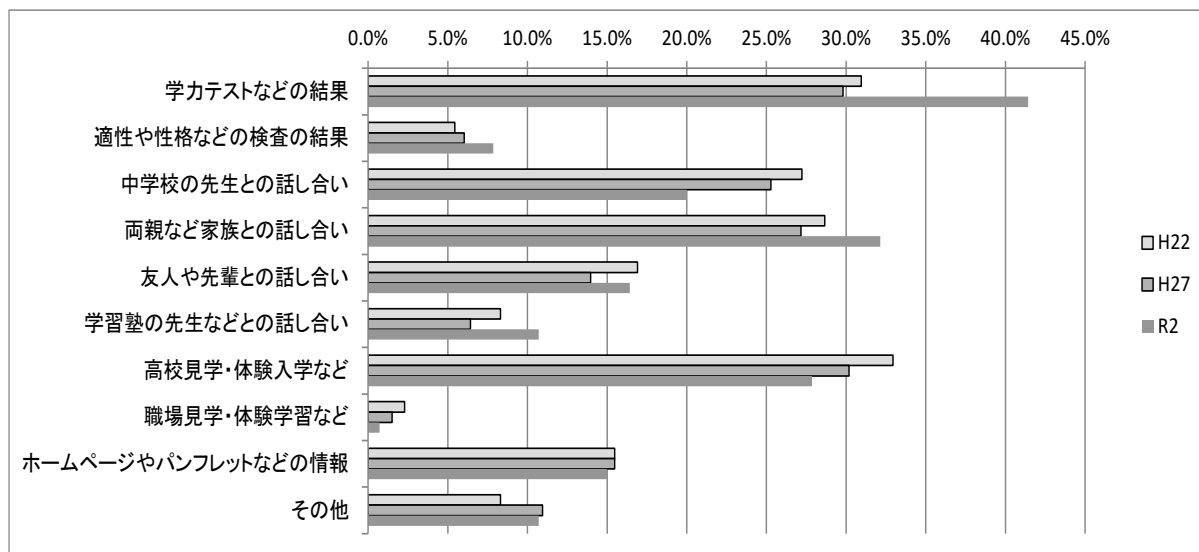
(参考) R2以前の調査データ

		教養を高めたいから	将来の仕事に役立つ知識、技術を身につけたいから	大学に進学したいから	高校を卒業した方が就職に有利だから	先生が勧めたから	両親など家族の者が勧めたから	友人や先輩が勧めたから	学習塾の先生が勧めたから	みんなが行くから	その高校の部活動で活動したいから	その後項の特色ある学科で勉強したいから	特に理由は無い	その他
H12	人数(人)	14	34	19	55	14	35	7	54	15	10	25	9	
	割合(%)	8.4%	20.5%	11.4%	33.1%	8.4%	21.1%	4.2%	32.5%	9.0%	6.0%	15.1%	5.4%	
H17	人数(人)	5	20	9	40	10	19	9	33	14	8	11	27	
	割合(%)	4.8%	19.0%	8.6%	38.1%	9.5%	18.1%	8.6%	31.4%	13.3%	7.6%	10.5%	10.2%	
H22	人数(人)		109	61	160	34	88	18	7	105	31		23	
	割合(%)		31.2%	17.5%	45.8%	9.7%	25.2%	5.2%	2.0%	30.1%	8.9%		6.6%	
H27	人数(人)		81	34	103	44	73	14	2	86	12		27	
	割合(%)		30.6%	12.8%	38.9%	16.6%	27.5%	5.3%	0.8%	32.5%	4.5%		10.2%	

(14) 入学する高校を決めるときに役立ったことは何ですか。【複数回答可】

		学カテスト などの結果	適性や性格などの検査の結果	中学校の 先生との話し合い	両親など家族との話し合い	友人や先輩との話し合い	学習塾の先生などとの話し合い	高校見学・体験入学など	職場見学・体験学習など	ホームページやパンフレットなどの情報	その他
H22	人数(人)	108	19	95	100	59	29	115	8	54	29
	割合(%)	30.9%	5.4%	27.2%	28.7%	16.9%	8.3%	33.0%	2.3%	15.5%	8.3%
H27	人数(人)	79	16	67	72	37	17	80	4	41	29
	割合(%)	29.8%	6.0%	25.3%	27.2%	14.0%	6.4%	30.2%	1.5%	15.5%	10.9%
R2	人数(人)	58	11	28	45	23	15	39	1	21	15
	割合(%)	41.4%	7.9%	20.0%	32.1%	16.4%	10.7%	27.9%	0.7%	15.0%	10.7%

*回答者に占める割合を示す



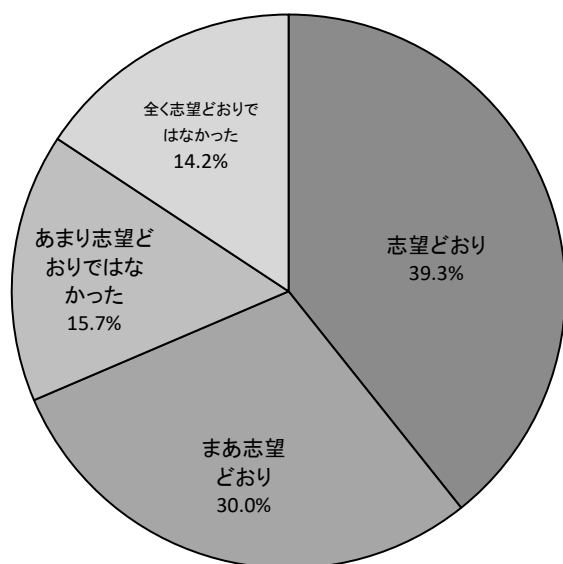
- ・ 「学カテストなどの結果」と回答した割合は41.4%で最も高い。
- ・ 「両親など家族との話し合い」と回答した割合は32.1%で2番目に高い。
- ・ 「中学校の先生との話し合い」と回答した割合は20.0%である。
- ・ 「その他」の回答には、「地元なので知っていた」「特にない」等があった。

〈参考〉 R2 以前の調査データ

		学カ検査の結果	性格や行動の検査の結果	適性や興味や興味の検査の結果	身体や体力の検査の結果	中学校の先生との話し合い	両親など家族との話し合い	友人や先輩との話し合い	高校の先生などとの話し合い	社会人の方などの話し合い	塾の先生などとの話し合い	高校見学・体験入学	職場見学・体験学習	ホームページやパンフレットなどの情報	その他
H12	人数(人)	73	3	3	6	32	36	39	4	2	0	27	0	26	
	割合(%)	44.0%	1.8%	1.8%	3.6%	19.3%	21.7%	23.5%	2.4%	1.2%	0.0%	16.3%	0.0%	15.7%	
H17	人数(人)	37	6	3	2	23	24	16	4	2	5	28	2	13	
	割合(%)	35.2%	5.7%	2.9%	1.9%	21.9%	22.9%	15.2%	3.8%	1.9%	4.8%	26.7%	1.9%	12.4%	
H22	人数(人)	108	19			95	100	59			29	115	8	54	29
	割合(%)	30.9%	5.4%			27.2%	28.7%	16.9%			8.3%	33.0%	2.3%	15.5%	8.3%
H27	人数(人)	79	16			67	72	37			17	80	4	41	29
	割合(%)	29.8%	6.0%			25.3%	27.2%	14.0%			6.4%	30.2%	1.5%	15.5%	10.9%

(15) 入学した高校は、志望した高校でしたか。

		志望どおり	まあ志望どおり	あまり志望どおりではなかった	全く志望どおりではなかった	不明無回答	合計
R2	人数(人)	55	41	22	22	0	140
	割合(%)	39.3%	29.3%	15.7%	15.7%	0.0%	100%



- ・ 「志望どおり」と回答した割合は 39.3%である。
- ・ 「まあ志望どおり」と回答した割合は 29.3%である。

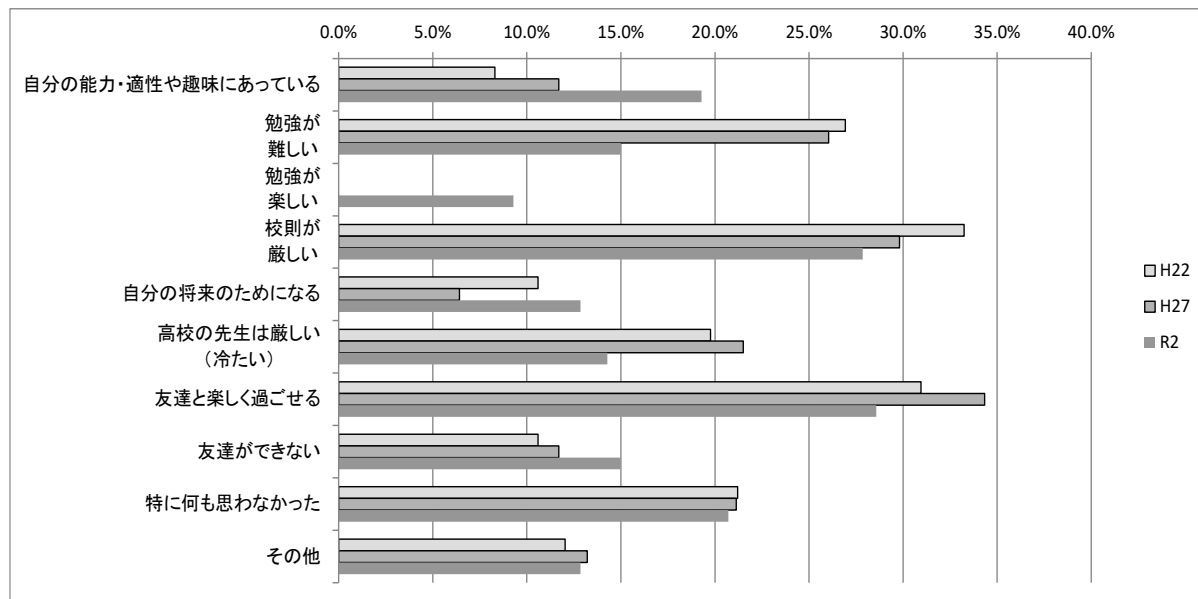
〈参考〉 R2 以前の調査データ

		志望どおり	まあ志望どおり	あまり志望どおりではなかった	全く志望どおりではなかった	不明無回答	合計
H12	人数(人)	65	54	28	19	0	166
	割合(%)	39.2%	32.5%	16.9%	11.4%	0.0%	100%
H17	人数(人)	45	31	18	11	0	105
	割合(%)	42.9%	29.5%	17.1%	10.5%	0.0%	100%
H22	人数(人)	129	104	62	47	9	351
	割合(%)	36.8%	29.6%	17.7%	13.4%	2.6%	100%
H27	人数(人)	104	76	37	36	13	266
	割合(%)	39.1%	28.6%	13.9%	13.5%	4.9%	100%

(16) 高校に入学したときの印象や状況はどのようなものでしたか。【複数回答可】

		自分の能力・適性や趣味にあっている	勉強が難しい	勉強が楽しい	校則が厳しい	自分の将来のためになる	高校の先生は厳しい(冷たい)	友達と楽しく過ごせる	友達ができない	特に何も思わなかった	その他
H22	人数(人)	29	94	-	116	37	69	108	37	74	42
	割合(%)	8.3%	26.9%		33.2%	10.6%	19.8%	30.9%	10.6%	21.2%	12.0%
H27	人数(人)	31	69	-	79	17	57	91	31	56	35
	割合(%)	11.7%	26.0%		29.8%	6.4%	21.5%	34.3%	11.7%	21.1%	13.2%
R2	人数(人)	27	21	13	39	18	20	40	21	29	18
	割合(%)	19.3%	15.0%	9.3%	27.9%	12.9%	14.3%	28.6%	15.0%	20.7%	12.9%

*回答者に占める割合を示す



- ・ 「友達と楽しく過ごせる」と回答した割合は28.6%と最も高いが、前回調査と比較し、5.7ポイント低下している。
- ・ 次いで「校則が厳しい」と回答した割合は27.9%、「勉強が難しい」と回答した割合は15.0%である。
- ・ 「その他」の回答には、「先生が自分に合っていないかった」「思っていたのと違った」等の回答があった。

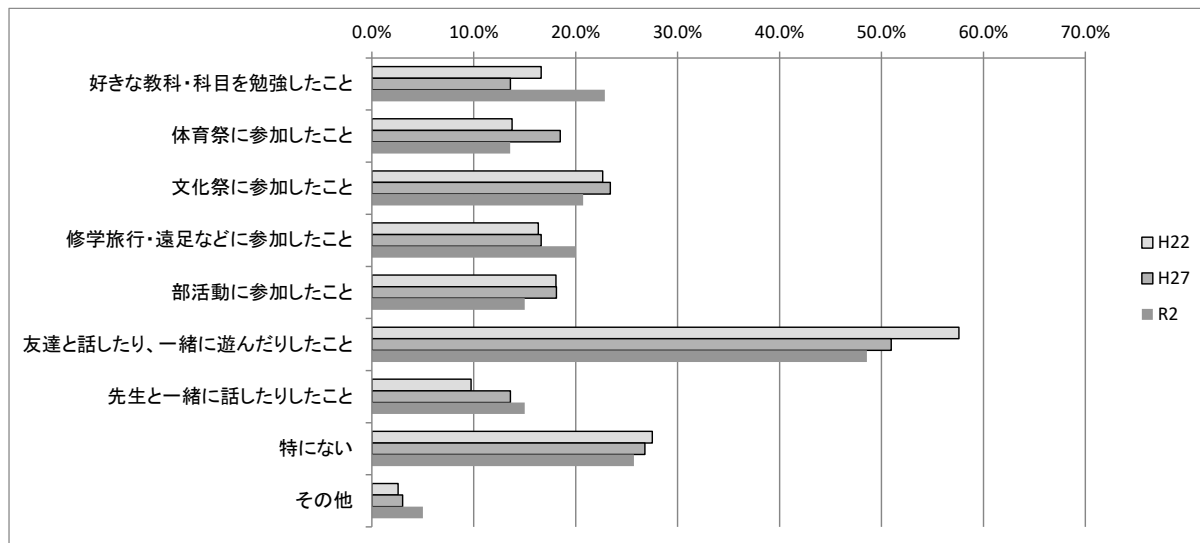
(参考) R2以前の調査データ

		自分の趣味や好みにあっている	勉強が難しい	自分の能力や適性が活かせる	校則が厳しい	自分の将来のためになる	高校の先生は冷たい	その高校に入学できて誇りに思った	みんながあまりにも勉強しないので期待はずれだった	仲間と楽しく過ごせる	部活動が厳しくてつらい	親や先生の期待に沿っている。	みんなが受験勉強ばかりしている	友だちができない	特に何も思わなかった	その他
H12	人数(人)	17	47	5	50	14	24	15	13	57	5	5	8		31	25
	割合(%)	10.2%	28.3%	3.0%	30.1%	8.4%	14.5%	9.0%	7.8%	34.3%	3.0%	3.0%	4.8%		18.7%	15.1%
H17	人数(人)	8	30	5	39	11	23	10	9	51	2	1	0		10	21
	割合(%)	7.6%	28.6%	4.8%	37.1%	10.5%	21.9%	9.5%	8.6%	48.6%	1.9%	1.0%	0.0%		9.5%	20.0%
H22	人数(人)	29	94		116	37	69		31	108					37	74
	割合(%)	8.3%	26.9%		33.2%	10.6%	19.8%		8.9%	30.9%					10.6%	21.2%
H27	人数(人)	31	69		79	17	57		18	91					31	56
	割合(%)	11.7%	26.0%		29.8%	6.4%	21.5%		6.8%	34.3%					11.7%	21.1%

(17) 高校生活の中で楽しかったことは何ですか。【複数回答可】

		好きな教科・科目を勉強したこと	体育祭に参加したこと	文化祭に参加したこと	修学旅行・遠足などに参加したこと	部活動に参加したこと	友達と話したり、一緒に遊んだりしたこと	先生と一緒に話したりしたこと	特にない	その他
H22	人数(人)	58	48	79	57	63	201	34	96	9
	割合(%)	16.6%	13.8%	22.6%	16.3%	18.1%	57.6%	9.7%	27.5%	2.6%
H27	人数(人)	36	49	62	44	48	135	36	71	8
	割合(%)	13.6%	18.5%	23.4%	16.6%	18.1%	50.9%	13.6%	26.8%	3.0%
R2	人数(人)	32	19	29	28	21	68	21	36	7
	割合(%)	22.9%	13.6%	20.7%	20.0%	15.0%	48.6%	15.0%	25.7%	5.0%

*回答者に占める割合を示す



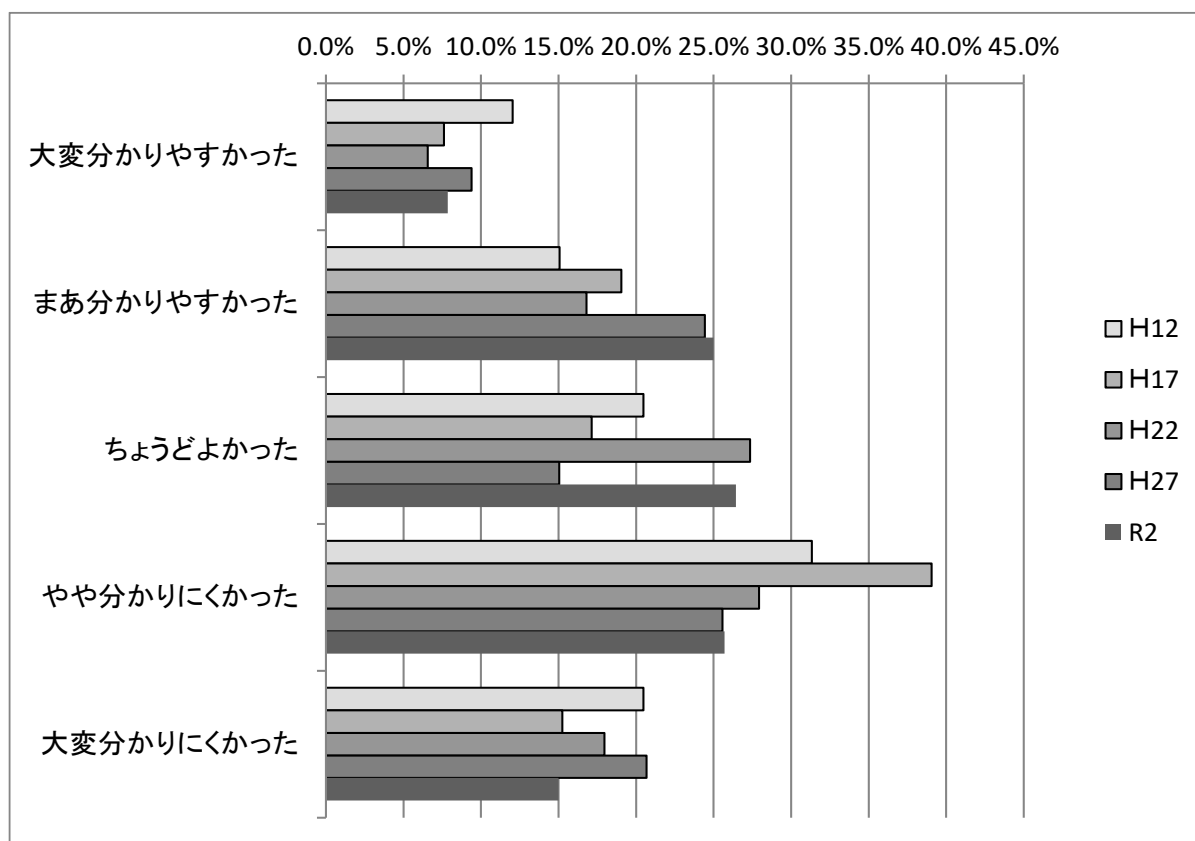
- ・ 「友達と話したり、一緒に遊んだりしたこと」と回答した割合は48.6%と、最も高い。
- ・ 「体育祭に参加したこと」と回答した割合は13.6%、「文化祭に参加したこと」と回答した割合は23.4%、「修学旅行・遠足などに参加したこと」と回答した割合は20.7%と、前回調査と比較し上昇している。
- ・ 「特にない」と回答する割合は25.7%である。
- ・ 「その他」の回答には、「認めてくれる先生がいたこと」「放課後」等の回答があった。

〈参考〉R2以前の調査データ

		好きな教科・科目を勉強したこと	ホームルーム合宿等に参加したこと	体育祭に参加したこと	文化祭に参加したこと	修学旅行・スキー合宿等に参加したこと	部活動に参加したこと	友達と話したり、一緒に遊んだりしたこと	先生と一緒に話したりしたこと	特にない	その他
H12	人数(人)	29	14	21	35	30	38	104	25	36	7
	割合(%)	17.5%	8.4%	12.7%	21.1%	18.1%	22.9%	62.7%	15.1%	21.7%	4.2%
H17	人数(人)	22	9	30	46	19	27	77	26	10	7
	割合(%)	21.0%	8.6%	28.6%	43.8%	18.1%	25.7%	73.3%	24.8%	9.5%	6.7%
H22	人数(人)	58		48	79	57	63	201	34	96	9
	割合(%)	16.6%		13.8%	22.6%	16.3%	18.1%	57.6%	9.7%	27.5%	2.6%
H27	人数(人)	36		49	62	44	48	135	36	71	8
	割合(%)	13.6%		18.5%	23.4%	16.6%	18.1%	50.9%	13.6%	26.8%	3.0%

(18) 高校の授業の内容についてどう思いましたか。

		大変分かりやすかった	まあ分かりやすかった	ちょうどよかった	やや分かりにくかった	大変分かりにくかった	不明無回答	合計
H12	人数(人)	20	25	34	52	34	1	166
	割合(%)	12.0%	15.1%	20.5%	31.3%	20.5%	0.6%	100%
H17	人数(人)	8	20	18	41	16	2	105
	割合(%)	7.6%	19.0%	17.1%	39.0%	15.2%	1.9%	100%
H22	人数(人)	23	59	96	98	63	12	351
	割合(%)	6.6%	16.8%	27.4%	27.9%	17.9%	3.4%	100%
H27	人数(人)	25	65	40	68	55	13	266
	割合(%)	9.4%	24.4%	15.0%	25.6%	20.7%	4.9%	100%
R2	人数(人)	11	35	37	36	21	0	140
	割合(%)	7.9%	25.0%	26.4%	25.7%	15.0%	0.0%	100%

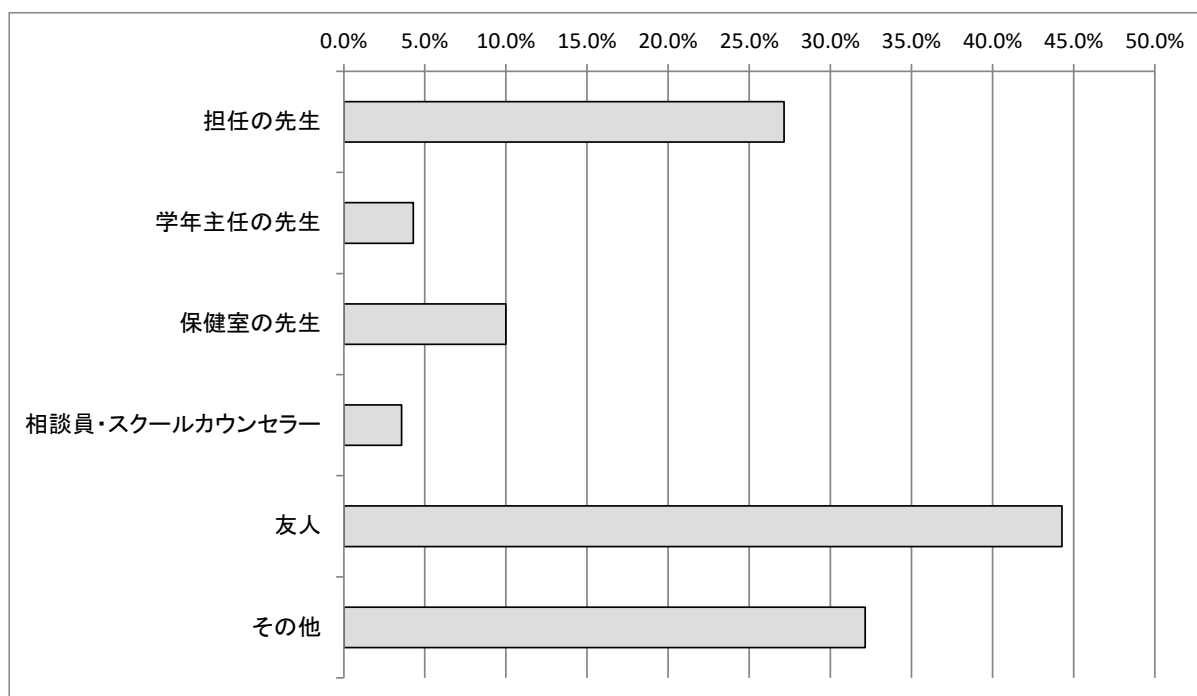


- ・ 「大変分かりにくかった」「やや分かりにくかった」と回答した割合は合計で 40.7% である。
- ・ 「まあわかりやすかった」「大変わかりやすかった」と回答した割合は合計で 32.9% である。

(19) 在学していた高校で心を打ち明けて相談できる人は以下の中にいましたか。

【複数回答可】

		担任の先生	学年主任の先生	保健室の先生	相談員・スクールカウンセラー	友人	その他
R2	人数(人)	38	6	14	5	62	45
	割合(%)	27.1%	4.3%	10.0%	3.6%	44.3%	32.1%



- ・ 「友人」と回答した割合は44.3%と最も高い。
- ・ 「その他」の回答には、「いない」「部活の顧問」等の回答があった。

今回調査からの新しい質問である

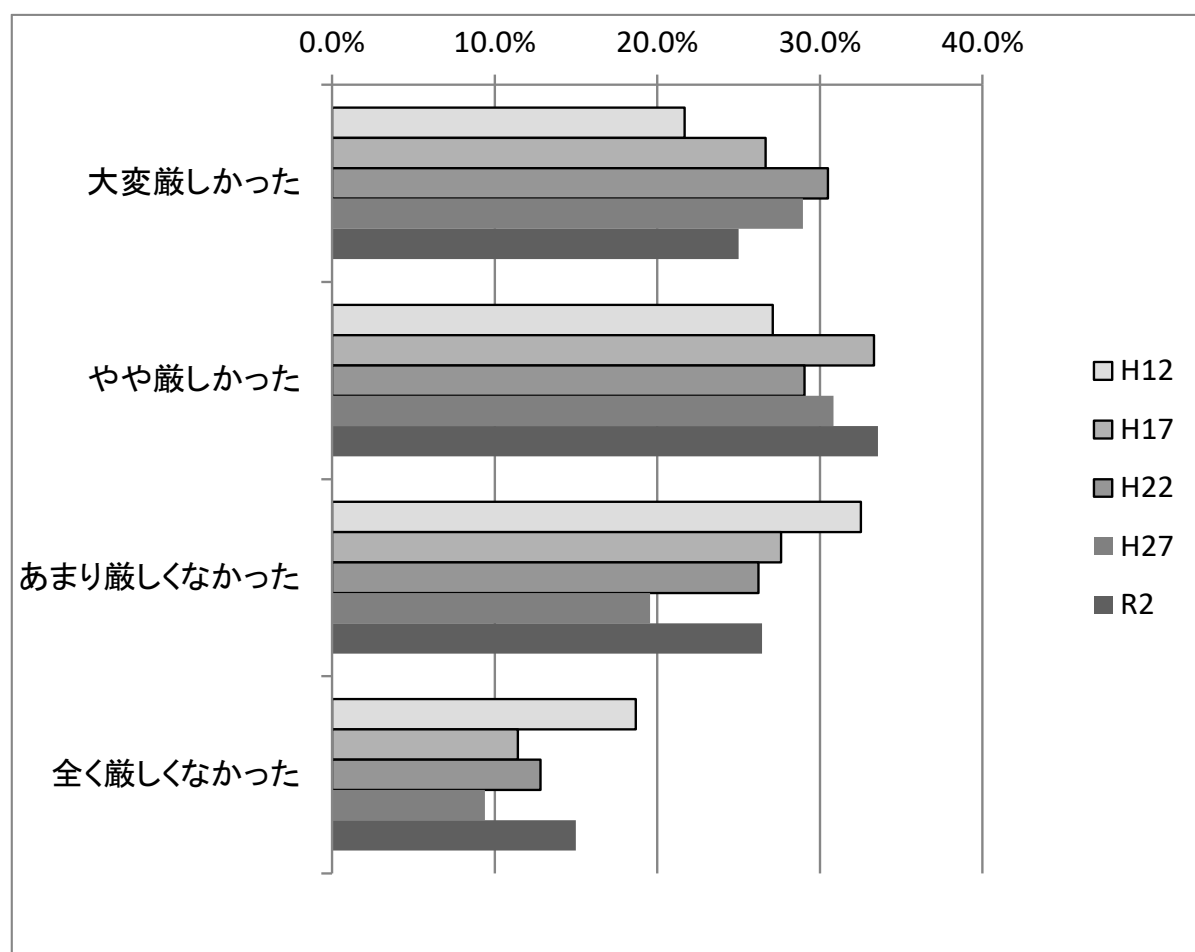
〈参考〉R2以前の調査データ

在学していた高校には、心を打ち明けて話せる友人が何人ぐらいいましたか。

		1人	2～3人	4～5人	6人以上	いなかった	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	22	63	21	15	42	3	166
	割合(%)	13.3%	38.0%	12.7%	9.0%	25.3%	1.8%	100%
H17	人数(人)	13	39	20	17	15	1	105
	割合(%)	12.4%	37.1%	19.0%	16.2%	14.3%	1.0%	100%
H22	人数(人)	31	108	54	57	88	13	351
	割合(%)	8.8%	30.8%	15.4%	16.2%	25.1%	3.7%	100%
H27	人数(人)	34	72	44	48	62	6	266
	割合(%)	12.8%	27.1%	16.5%	18.0%	23.3%	2.3%	100%

(20) 高校の校則やきまりはどうでしたか。

		大変厳しかった	やや厳しかった	あまり厳しくなかった	全く厳しくなかった	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	36	45	54	31	0	166
	割合(%)	21.7%	27.1%	32.5%	18.7%	0.0%	100%
H17	人数(人)	28	35	29	12	1	105
	割合(%)	26.7%	33.3%	27.6%	11.4%	1.0%	100%
H22	人数(人)	107	102	92	45	5	351
	割合(%)	30.5%	29.1%	26.2%	12.8%	1.4%	100%
H27	人数(人)	77	82	52	25	30	266
	割合(%)	28.9%	30.8%	19.5%	9.4%	11.3%	100%
R2	人数(人)	35	47	37	21	0	140
	割合(%)	25.0%	33.6%	26.4%	15.0%	0.0%	100%



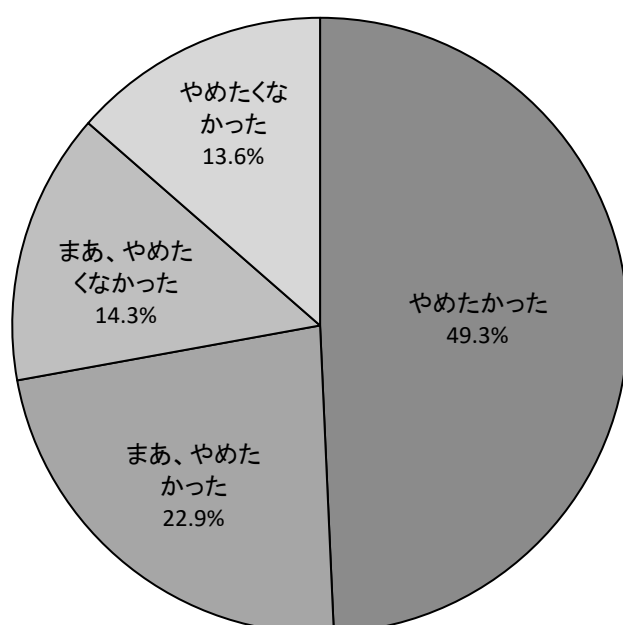
- ・ 「大変厳しかった」「やや厳しかった」と回答した割合は合計で58.6%である。

■ 高校を退学するにあたって

(21) 在学中に高校を退学することについてどのように考えていましたか。

		やめたかった	まあ、やめたかった	まあ、やめたくなかった	やめたくなかった	不明・無回答	合計
R2	人数(人)	69	32	20	19	0	140
	割合(%)	49.3%	22.9%	14.3%	13.6%	0.0%	100%

R2	人数(人)	69	32	20	19
上記項目回答者のうち、設問(8)で退学後「高校をやめてよかった」「まあ、やめてよかった」と回答した人数		59	26	10	10
当該項目回答者に占める割合(%)		85.5%	81.3%	50.0%	52.6%

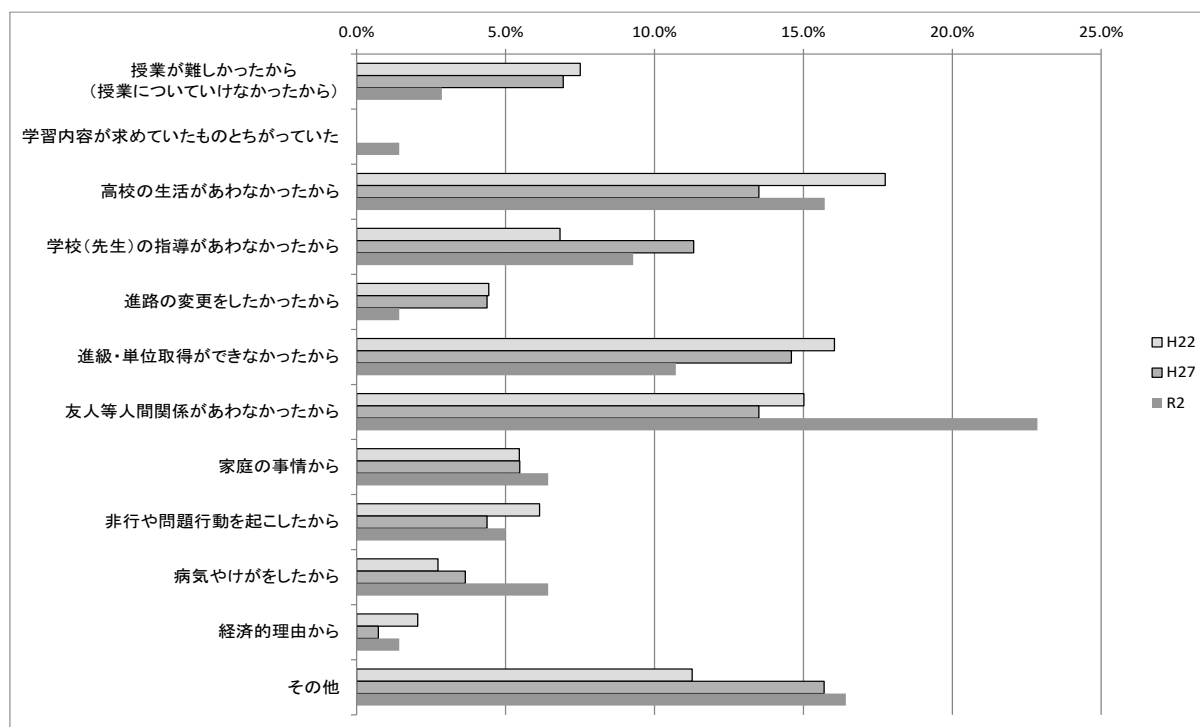


- ・ 「やめたかった」「まあ、やめたかった」と回答した割合は合計で、72.2%である。
- ・ 「やめたかった」と在学中考えていた者のうち、中途退学後「やめてよかった」「まあ、やめてよかった」と回答した割合は85.5%である。
- ・ 「やめたくなかった」と在学中考えていた者のうち、中途退学後、「やめてよかった」「まあ、やめてよかった」と回答した割合は52.6%である。

前回調査からの質問である

(22) 高校を退学することに決めた一番の理由を、次の中から一つだけあげてください。

		授業が難しかったから (授業についていけなかったから)	学習内容が求めているものどちがっていた	高校の生活があわなかったから	学校(先生)の指導があわなかったから	進路の変更をしたかったから	進級・単位取得ができなかったから	友人等人間関係があわなかったから	家庭の事情から	非行や問題行動を起こしたから	病気やけがをしたから	経済的理由から	その他
H22	人数(人)	22		52	20	13	47	44	16	18	8	6	33
	割合(%)	7.5%		17.7%	6.8%	4.4%	16.0%	15.0%	5.5%	6.1%	2.7%	2.0%	11.3%
H27	人数(人)	19		37	31	12	40	37	15	12	10	2	43
	割合(%)	6.9%		13.5%	11.3%	4.4%	14.6%	13.5%	5.5%	4.4%	3.6%	0.7%	15.7%
R2	人数(人)	4	2	22	13	2	15	32	9	7	9	2	23
	割合(%)	2.9%	1.4%	15.7%	9.3%	1.4%	10.7%	22.9%	6.4%	5.0%	6.4%	1.4%	16.4%



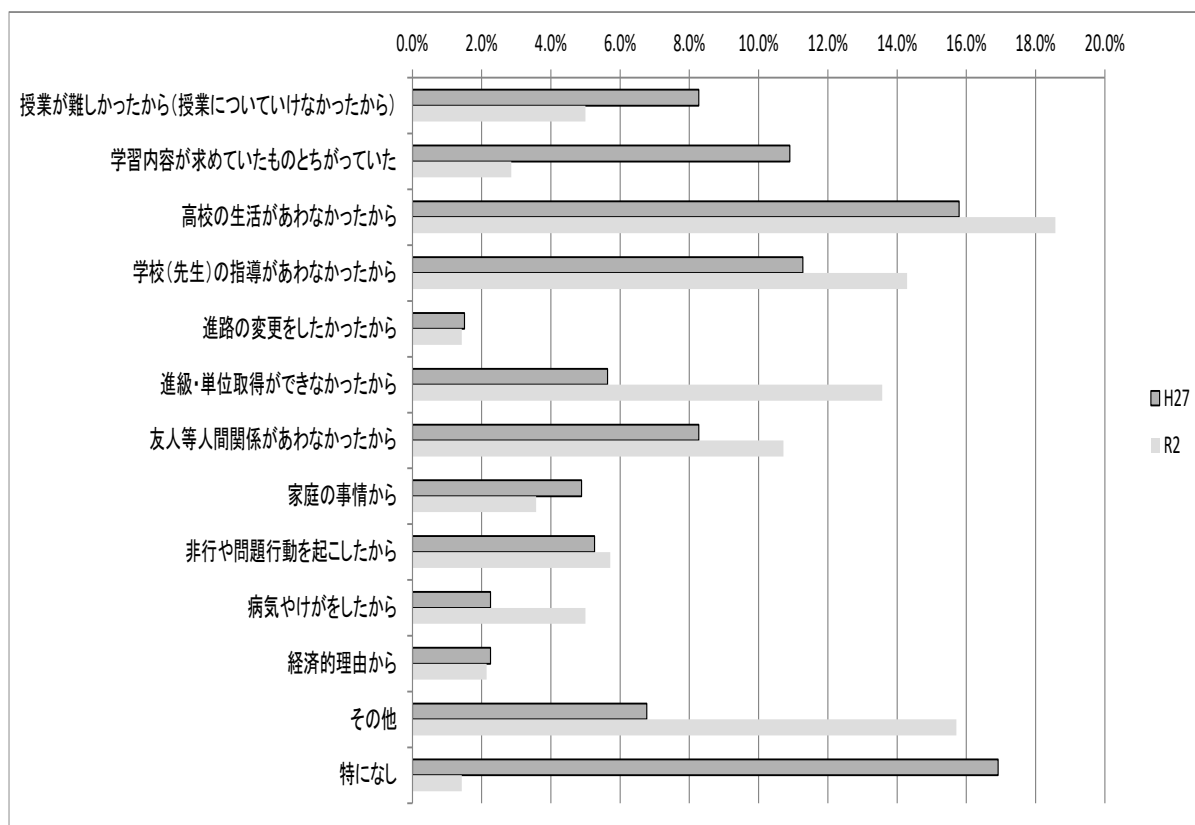
- ・ 「友人等人間関係があわなかったから」と回答した割合は22.9%と最も高い。
- ・ 「高校の生活があわなかったから」と回答した割合は15.7%である。
- ・ 「進級・単位取得ができなかったから」と回答した割合は10.7%である。
- ・ 「その他」の回答には、「行く意味がみつからなくなった」「朝起きられなかった」等の回答があった。

〈参考〉 R2 以前の調査データ

		授業についていけなかったから	高校の勉強が嫌だったから	高校の生活があわなかったから	先生の指導があわなかったから	進路の変更をしたかったから	進級・単位取得ができなかったから	友人等人間関係があわなかったから	家庭の事情から	非行や問題行動を起こしたから	病気やけがをしたから	経済的理由から	その他
H12	人数(人)	16	13	56		28			5	7	3	0	38
	割合(%)	9.6%	7.8%	33.7%		16.9%			3.0%	4.2%	1.8%	0.0%	22.9%
H17	人数(人)	11	6	20	7	10		14	3	5	6	1	22
	割合(%)	10.5%	5.7%	19.0%	6.7%	9.5%		13.3%	2.9%	4.8%	5.7%	1.0%	21.0%
H22	人数(人)	22	14	52	20	13	47	44	16	18	8	6	33
	割合(%)	7.5%	4.8%	17.7%	6.8%	4.4%	16.0%	15.0%	5.5%	6.1%	2.7%	2.0%	11.3%
H27	人数(人)	19	16	37	31	12	40	37	15	12	10	2	43
	割合(%)	6.9%	5.8%	13.5%	11.3%	4.4%	14.6%	13.5%	5.5%	4.4%	3.6%	0.7%	15.7%

(23) 二番目の理由を、次の中から一つだけあげてください。

		授業が難しかったから(授業についていけなかったから)	学習内容が求めているものどちがっていた	高校の生活があわなかったから	学校(先生)の指導があわなかったから	進路の変更をしたかったから	進級・単位取得ができなかったから	友人等人間関係があわなかったから	家庭の事情から	非行や問題行動を起こしたから	病気やけがをしたから	経済的理由から	その他	特になし
H27	人数(人)	22	29	42	30	4	15	22	13	14	6	6	18	45
	割合(%)	8.3%	10.9%	15.8%	11.3%	1.5%	5.6%	8.3%	4.9%	5.3%	2.3%	2.3%	6.8%	16.9%
R2	人数(人)	7	4	26	20	2	19	15	5	8	7	3	22	2
	割合(%)	5.0%	2.9%	18.6%	14.3%	1.4%	13.6%	10.7%	3.6%	5.7%	5.0%	2.1%	15.7%	1.4%

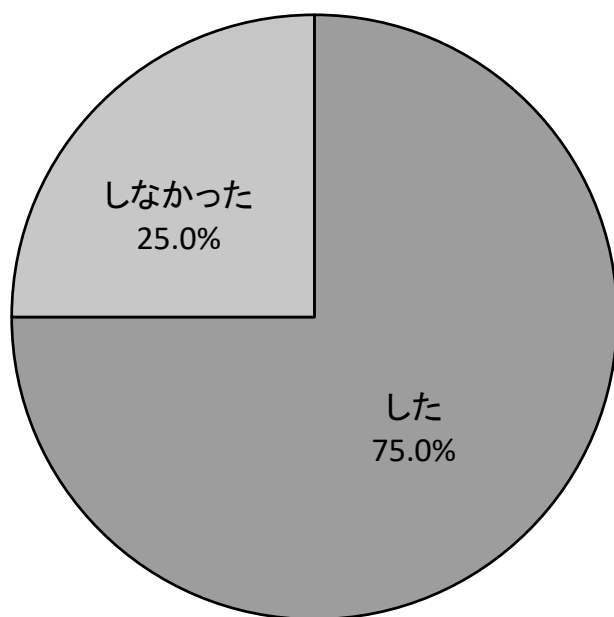


- ・ 「高校の生活があわなかったから」と回答した割合は18.6%と最も高い。
- ・ 「その他」の回答では、「出席日数が足りなかったから」「病気のため通学が困難になった」「留学」等があった。

前回調査からの質問である

(24) 高校を退学することについて誰かに相談しましたか。

		した	しなかった	不明・無回答	合計
R2	人数(人)	105	35	0	140
	割合(%)	75.0%	25.0%	0.0%	100%



- ・ 「した」と回答した割合は75.0%である。
- ・ 「しなかった」と回答した割合は25.0%である。

〈参考〉 R2 以前の調査データ

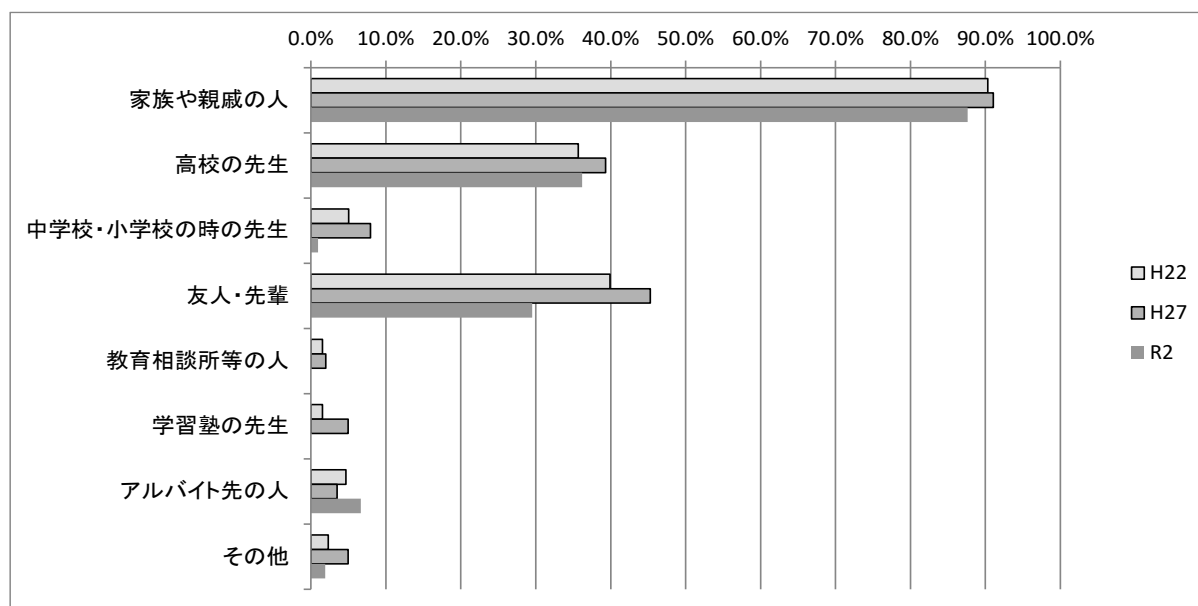
		した	しなかった	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	145	21	0	166
	割合(%)	87.3%	12.7%	0.0%	100%
H17	人数(人)	93	12	0	105
	割合(%)	88.6%	11.4%	0.0%	100%
H22	人数(人)	258	89	4	351
	割合(%)	73.5%	25.4%	1.1%	100%
H27	人数(人)	201	56	9	266
	割合(%)	75.6%	21.1%	3.4%	100%

(25) (24)の質問で「した」と回答した人に伺います。誰と相談しましたか。

【複数回答可】

		家族や親戚 の人	高校の先生	中学校・小学 校の時の先生	友人・先輩	教育相談所等 の人	学習塾の先生	アルバイト先 の人	その他
H22	人数(人)	233	92	13	103	4	4	12	6
	割合(%)	90.3%	35.7%	5.0%	39.9%	1.6%	1.6%	4.7%	2.3%
H27	人数(人)	183	79	16	91	4	10	7	10
	割合(%)	91.0%	39.3%	8.0%	45.3%	2.0%	5.0%	3.5%	5.0%
R2	人数(人)	92	38	1	31	0	0	7	2
	割合(%)	87.6%	36.2%	1.0%	29.5%	0.0%	0.0%	6.7%	1.9%

*回答者に占める割合を示す



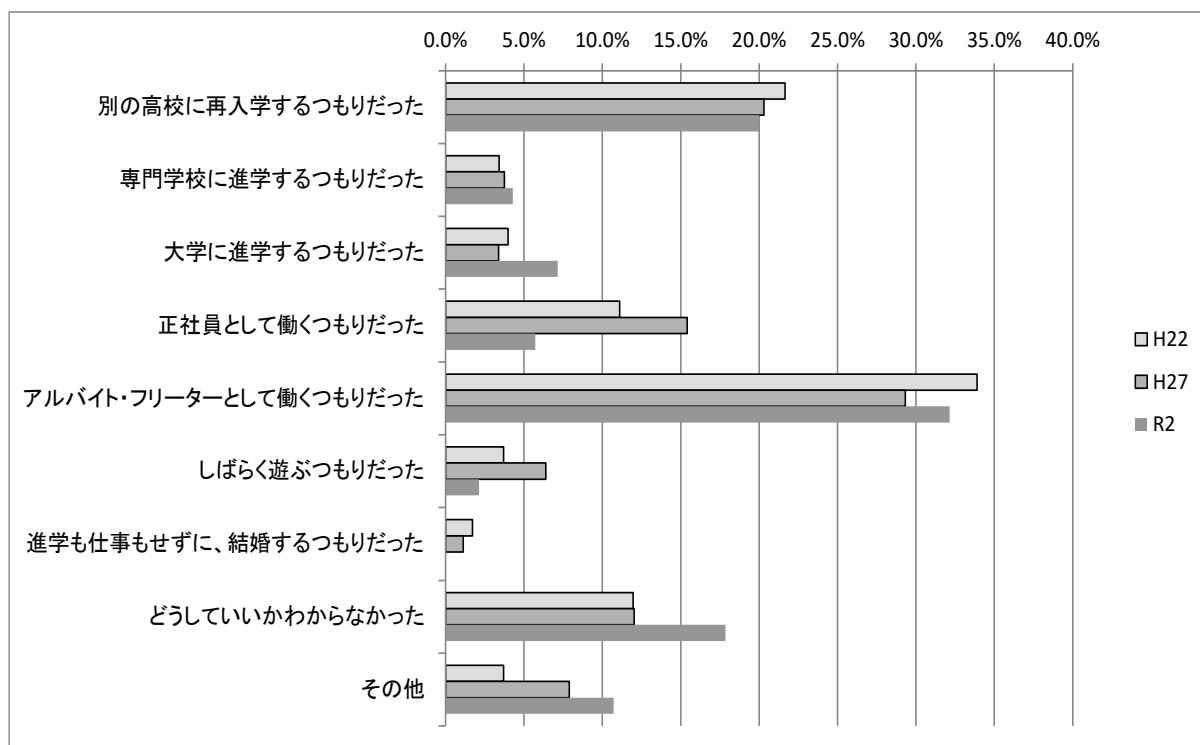
- ・ 「家族や親戚の人」と回答した割合は 87.6%、「高校の先生」と回答した割合は 36.2%、「友人・先輩」と回答した割合は 29.%である。
- ・ 「その他」の回答では、「診療内科の先生」「児童相談所のケースワーカー」等の回答があった。

〈参考〉 R2 以前の調査データ

		両親など家族 の人	高校の先生	中学校の時の 先生	小学校の時の 先生	友人・先輩	親戚の人	教育相談所等 の人	学習塾の先 生	アルバイト先 の人	その他
H12	人数(人)	119	67	6	0	69	4	2	4	9	20
	割合(%)	82.1%	46.2%	4.1%	0.0%	47.6%	2.8%	1.4%	2.8%	6.2%	13.8%
H17	人数(人)	69	33	4	0	32	1	0	1	4	3
	割合(%)	74.2%	35.5%	4.3%	0.0%	34.4%	1.1%	0.0%	1.1%	4.3%	3.2%
H22	人数(人)	233	92	13		103		4	4	12	6
	割合(%)	90.3%	35.7%	5.0%		39.9%		1.6%	1.6%	4.7%	2.3%
H27	人数(人)	183	79	16		91		4	10	7	10
	割合(%)	91.0%	39.3%	8.0%		45.3%		2.0%	5.0%	3.5%	5.0%

(26) 高校を退学した時点では、その後のことについてどのように考えていましたか。
次の中から一つだけあげてください。

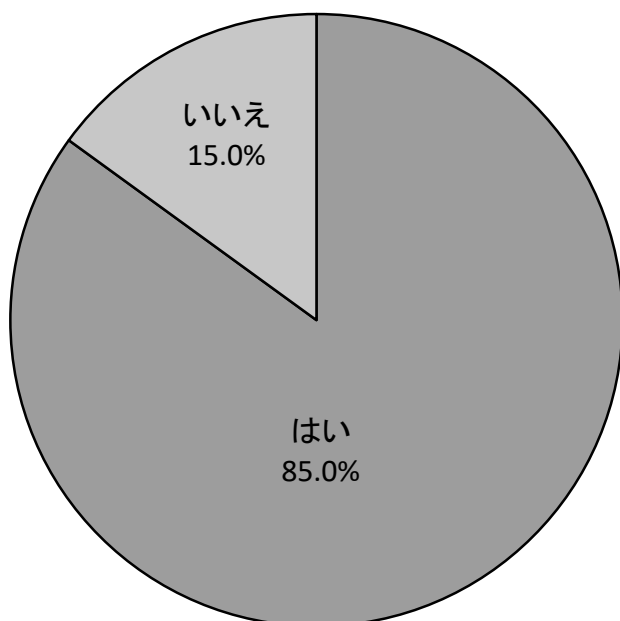
		別の高校に再入学するつもりだった	専門学校に進学するつもりだった	大学に進学するつもりだった	正社員として働くつもりだった	アルバイト・フリーターとして働くつもりだった	しばらく遊ぶつもりだった	進学も仕事もせず、結婚するつもりだった	どうしていいかわからなかった	その他	不明無回答	合計
H22	人数(人)	76	12	14	39	119	13	6	42	13	17	351
	割合(%)	21.7%	3.4%	4.0%	11.1%	33.9%	3.7%	1.7%	12.0%	3.7%	4.8%	100%
H27	人数(人)	54	10	9	41	78	17	3	32	21	1	266
	割合(%)	20.3%	3.8%	3.4%	15.4%	29.3%	6.4%	1.1%	12.0%	7.9%	0.4%	100%
R2	人数(人)	28	6	10	8	45	3	0	25	15	0	140
	割合(%)	20.0%	4.3%	7.1%	5.7%	32.1%	2.1%	0.0%	17.9%	10.7%	0.0%	100%



- ・ 「アルバイト・フリーターとして働くつもりだった」と回答した割合は32.1%と最も高く、前回調査と比較し、2.8ポイント上昇している。
- ・ 「正社員として働くつもりだった」と回答した割合は5.7%と、前回調査と比較し、9.7ポイント低下している。
- ・ 「どうしていいかわからなかった」と回答した割合は17.9%と、前回調査と比較し、5.9ポイント上昇している。
- ・ 「その他」の回答では、「何もしたくなかった」「高卒認定試験を受験しようとしていた」等があった。

(27) 高校を退学前は、高校卒業の資格は必要だと考えましたか。

		はい	いいえ	不明・無回答	合計
H22	人数(人)	254	93	4	351
	割合(%)	72.4%	26.5%	1.1%	100%
H27	人数(人)	187	73	6	266
	割合(%)	70.3%	27.4%	2.3%	100%
R2	人数(人)	119	21	0	140
	割合(%)	85.0%	15.0%	0.0%	100%

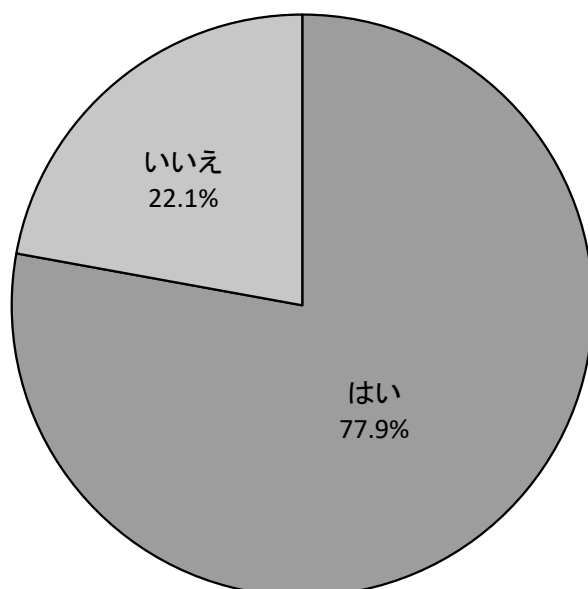


- 「はい」と回答した割合は 85.0%である。
- 「いいえ」と回答した割合は 15.0%である。

■ 高校を退学してから

(28) 高校を退学後は、高校卒業の資格は必要だと考えましたか。

		はい	いいえ	不明・無回答	合計
H22	人数(人)	267	81	3	351
	割合(%)	76.1%	23.1%	0.9%	100%
H27	人数(人)	172	85	9	266
	割合(%)	64.7%	32.0%	3.4%	100%
R2	人数(人)	109	31	0	140
	割合(%)	77.9%	22.1%	0.0%	53%

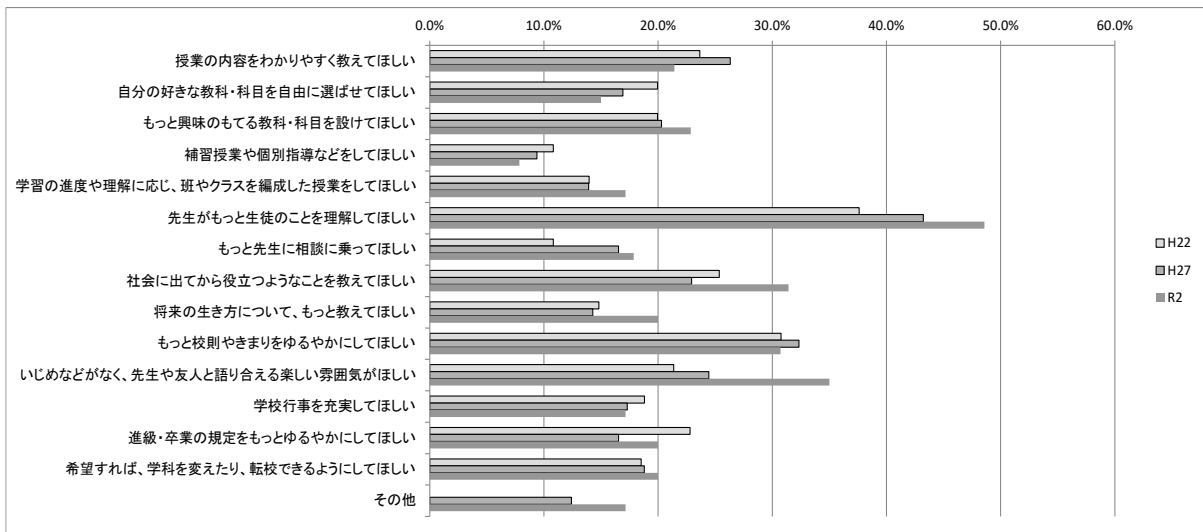


- ・ 「はい」と回答した割合は77.9%である。(22)の質問で「高校を退学前は、高校卒業の資格は必要だと考えていた」と回答した割合(85.0%)と比較し、7.1ポイント低い。
- ・ 中途退学者は中途退学後、高校卒業の資格の必要性を感じる割合が上昇している。

(29) 高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望みますか。【複数回答可】

		授業の内容をわかりやすく教えてほしい	自分の好きな教科・科目を自由に選ばせてほしい	もっと興味のもてる教科・科目を設けてほしい	コンピュータなどを使う授業をしてほしい	自分で課題を見つけて学習する授業をしてほしい	補習授業や個別指導などをしてほしい	学習の進度や理解に応じ、班やクラスを編成した授業をしてほしい	一つの高校に在学しながら、他の高校の授業を受けられるようにしてほしい	先生がもっと生徒のことを理解してほしい	もっと先生に相談に乗ってほしい	社会に出てから役立つようなことを教えてほしい	将来の生き方について、もっと教えてほしい	もっと校則やきまりをゆるやかにしてほしい	いじめなどがなく、先生や友人と語り合える楽しい雰囲気してほしい	学校行事を充実してほしい	進級・卒業の規定をもっとゆるやかにしてほしい	希望すれば、学科を変えたり、転校できるようにしてほしい	希望すれば、学科を変えたり、転校できるようにしてほしい	その他
H22	人数(人)	83	70	70	38	49	132	38	89	52	108	75	66	80	65	—				
H27	人数(人)	70	45	54	25	37	115	44	61	38	86	65	46	44	50	33				
R2	人数(人)	30	21	32	11	24	68	25	44	28	43	49	24	28	28	24				
	割合(%)	23.6%	19.9%	19.9%	10.8%	14.0%	37.6%	10.8%	25.4%	14.8%	30.8%	21.4%	18.8%	22.8%	18.5%	—				
	割合(%)	26.3%	16.9%	20.3%	9.4%	13.9%	43.2%	16.5%	22.9%	14.3%	32.3%	24.4%	17.3%	16.5%	18.8%	12.4%				
	割合(%)	21.4%	15.0%	22.9%	7.9%	17.1%	48.6%	17.9%	31.4%	20.0%	30.7%	35.0%	17.1%	20.0%	20.0%	17.1%				

*回答者に占める割合を示す



- ・ 「先生がもっと生徒のことを理解してほしい」と回答した割合は48.6%と最も高く、前回調査と比較し、5.4ポイント上昇している。
- ・ 「もっと先生に相談に乗ってほしい」と回答した割合は17.9%と、前回調査と比較し、1.4ポイント上昇している。
- ・ その他の回答では、「もっと主体性を身につけさせてほしい」、「特になし」等があった。

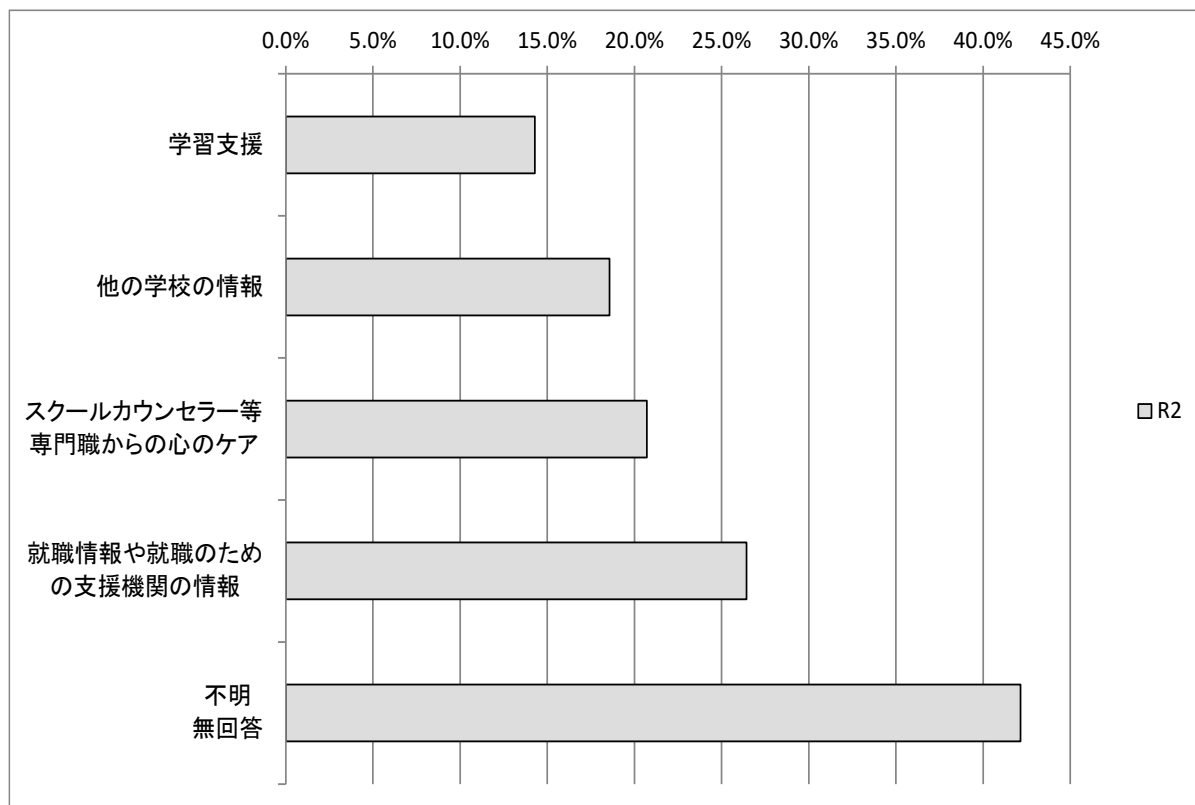
〈参考〉R2以前の調査データ

		授業の内容をわかりやすく教えてほしい	自分の好きな教科・科目を自由に選ばせてほしい	もっと興味のもてる教科・科目を設けてほしい	コンピュータなどを使う授業をしてほしい	自分で課題を見つけて学習する授業をしてほしい	補習授業や個別指導などをしてほしい	学習の進度や理解に応じ、班やクラスを編成した授業をしてほしい	一つの高校に在学しながら、他の高校の授業を受けられるようにしてほしい	先生がもっと生徒のことを理解してほしい	もっと先生に相談に乗ってほしい	社会に出てから役立つようなことを教えてほしい	将来の生き方について、もっと教えてほしい	もっと校則やきまりをゆるやかにしてほしい	いじめなどがなく、先生や友人と語り合える楽しい雰囲気してほしい	学校行事を充実してほしい	進級・卒業の規定をもっとゆるやかにしてほしい	三年以上で一定の単位を取れば卒業できるようにしてほしい	希望すれば、学科を変えたり、転校できるようにしてほしい	希望すれば、再び高校で学べるようにしてほしい	その他	特になし
H12	人数(人)	40	50	56	26	20	25	18	17	28	13	71	49	55	35	29	36	33	50	36	13	9
H12	割合(%)	24.1%	30.1%	33.7%	15.7%	12.0%	15.1%	10.8%	10.2%	16.9%	7.8%	42.8%	29.5%	33.1%	21.1%	17.5%	21.7%	19.9%	30.1%	21.7%	7.8%	5.4%
H17	人数(人)	31	31	27	17	13	25	16	8	44	15	45	23	48	34	28	23	22	21	14	4	2
H17	割合(%)	29.5%	29.5%	25.7%	16.2%	12.4%	23.8%	15.2%	7.6%	41.9%	14.3%	42.9%	21.9%	45.7%	32.4%	26.7%	21.9%	21.0%	20.0%	13.3%	3.8%	1.9%
H22	人数(人)	83	70	70	38	49	132	38	89	52	108	75	66	80	65	—	—	—	—	—	—	—
H22	割合(%)	23.6%	19.9%	19.9%	10.8%	14.0%	37.6%	10.8%	25.4%	14.8%	30.8%	21.4%	18.8%	22.8%	18.5%	—	—	—	—	—	—	—
H27	人数(人)	70	45	54	25	37	115	44	61	38	86	65	46	44	50	33	—	—	—	—	—	—
H27	割合(%)	26.3%	16.9%	20.3%	9.4%	13.9%	43.2%	16.5%	22.9%	14.3%	32.3%	24.4%	17.3%	16.5%	18.8%	12.4%	—	—	—	—	—	—

(30) 中途退学を考えたときに、学校に支援してほしいことが以下の中にありますか。【複数回答可】

		学習支援	他の学校の 情報	スクールカウ ンセラー等 専門職から の心のケア	就職情報や 就職のため の支援機関 の情報	不明 無回答
R2	人数(人)	20	26	29	37	59
	割合(%)	14.3%	18.6%	20.7%	26.4%	42.1%

*回答者に占める割合を示す

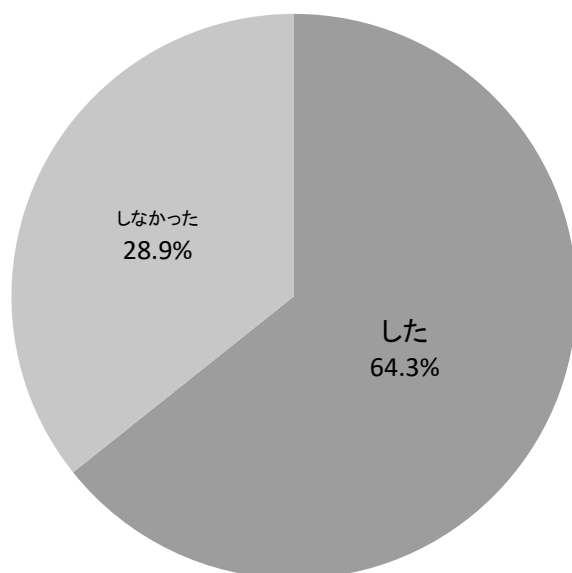


- ・ 「就職情報や就職のための支援機関の情報」と回答した割合は26.4%と最も高い。
- ・ 「スクールカウンセラー等専門職からの心のケア」と回答した割合は20.7%で2番目に高い。

今回調査からの新たな質問である

(31) 高校を退学したあと、自分の進路について、誰かに相談しましたか。

		した	しなかった	不明・無回答	合計
R2	人数(人)	90	50	0	140
	割合(%)	64.3%	35.7%	0.0%	100%



- ・ 「した」と回答した割合は 64.3%である。前回調査と比較し、4.9 ポイント低下している。
- ・ 「しなかった」と回答した割合は 35.7%である。

〈参考〉 R2 以前の調査データ

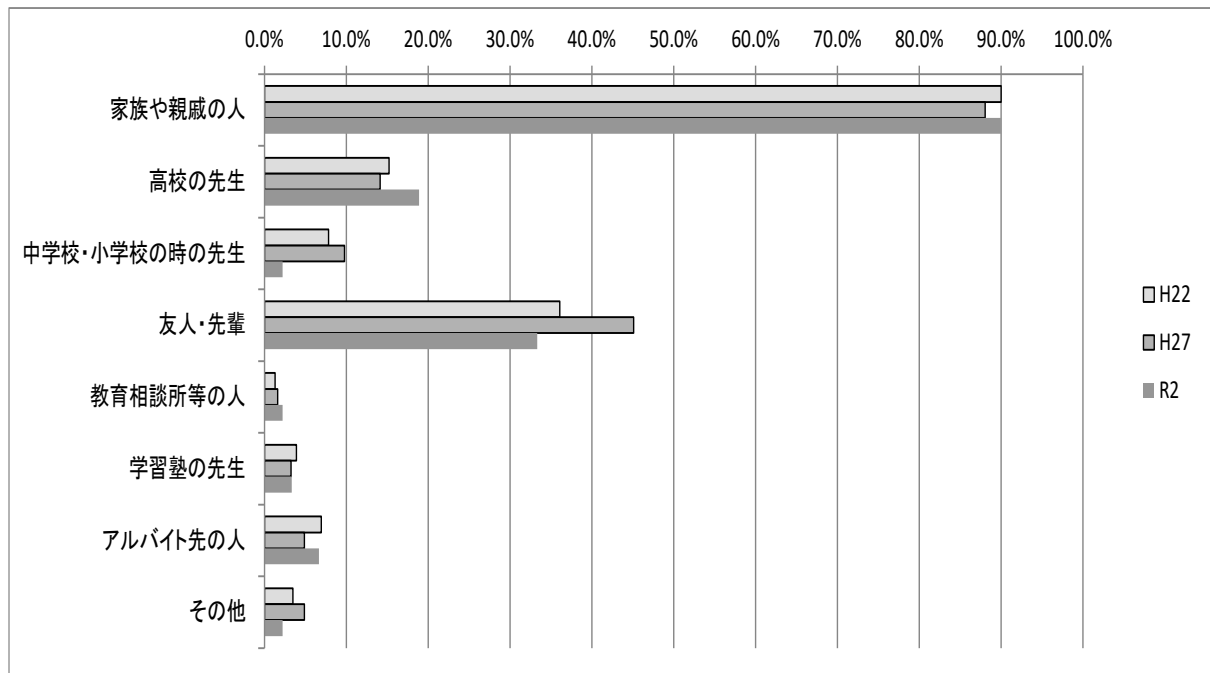
		した	しなかった	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	120	40	6	166
	割合(%)	72.3%	24.1%	3.6%	100%
H17	人数(人)	73	27	5	105
	割合(%)	69.5%	25.7%	4.8%	100%
H22	人数(人)	230	116	5	351
	割合(%)	65.5%	33.0%	1.4%	100%
H27	人数(人)	184	77	5	266
	割合(%)	69.2%	28.9%	1.9%	100%

(32) (31) の質問で「した」と回答した人に伺います。誰と相談しましたか。

【複数回答可】

		家族や親戚の人	高校の先生	中学校・小学校の時の先生	友人・先輩	教育相談所等の人	学習塾の先生	アルバイト先の人	その他
H22	人数(人)	207	35	18	83	3	9	16	8
	割合(%)	90.0%	15.2%	7.8%	36.1%	1.3%	3.9%	7.0%	3.5%
H27	人数(人)	162	26	18	83	3	6	9	9
	割合(%)	88.0%	14.1%	9.8%	45.1%	1.6%	3.3%	4.9%	4.9%
R2	人数(人)	81	17	2	30	2	3	6	2
	割合(%)	90.0%	18.9%	2.2%	33.3%	2.2%	3.3%	6.7%	2.2%

*回答者に占める割合を示す



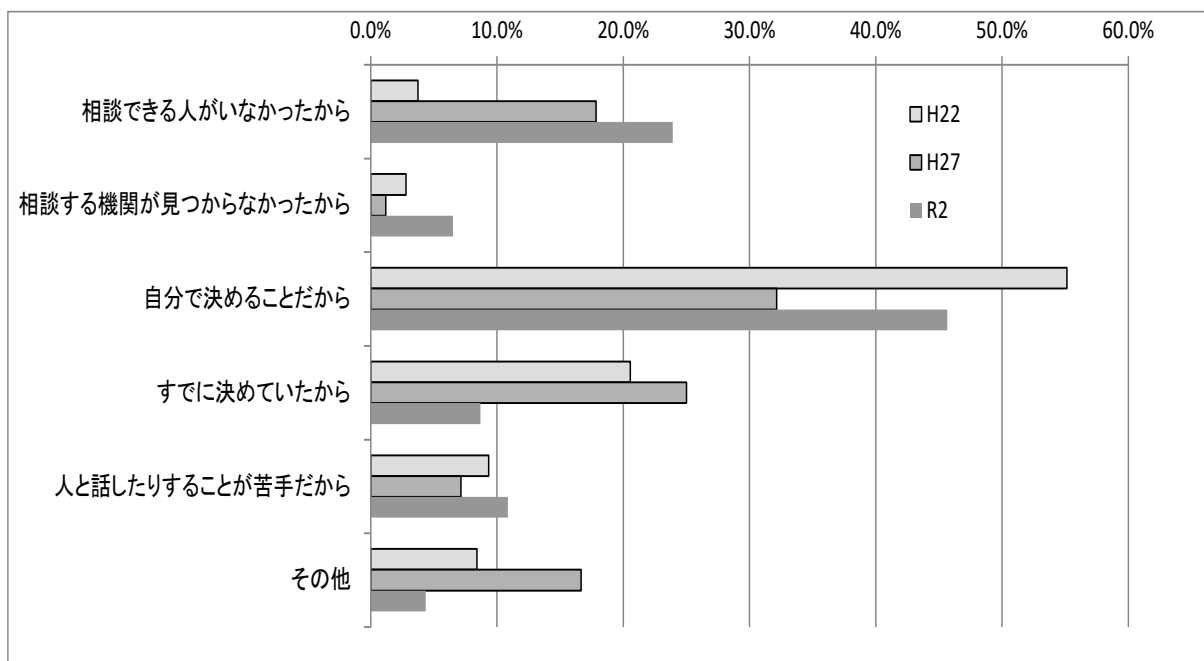
- ・ 「家族や親戚の人」と回答した割合は 90.0%、「友人・先輩」と回答した割合は 33.3%、「高校の先生」と回答した割合は 18.9%である。
- ・ 「その他」の回答では、「入所施設の職員」「診療内科の先生」があった。

〈参考〉 R2 以前の調査データ

	両親など家族の人	家族・親戚の人	高校の先生	中学校・小学校の時の先生	友人・先輩	教育相談所等の人	学習塾の先生	アルバイト先の人	ハローワークなど	その他
H12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	84.2%	52.5%	23.3%	3.3%	6.7%	1.7%	0.8%	2.5%	5.8%	
H17	58	1	14	2	21	0	1	1	0	
	79.5%	1.4%	19.2%	2.7%	28.8%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	
H22		207	35	18	83	3	9	16	8	
		90.0%	15.2%	7.8%	36.1%	1.3%	3.9%	7.0%	3.5%	
H27		162	26	18	83	3	6	9	9	
		88.0%	14.1%	9.8%	45.1%	1.6%	3.3%	4.9%	4.9%	

(33) (31)の質問で、「しなかった」と答えた方のみお答えください。なぜ相談しなかったのですか。

		相談できる人がいなかったから	相談する機関が見つからなかったから	自分で決めることだから	すでに決めていたから	人と話したりすることが苦手だから	その他
H22	人数(人)	4	3	59	22	10	9
	割合(%)	3.7%	2.8%	55.1%	20.6%	9.3%	8.4%
H27	人数(人)	15	1	27	21	6	14
	割合(%)	17.9%	1.2%	32.1%	25.0%	7.1%	16.7%
R2	人数(人)	11	3	21	4	5	2
	割合(%)	23.9%	6.5%	45.7%	8.7%	10.9%	4.3%

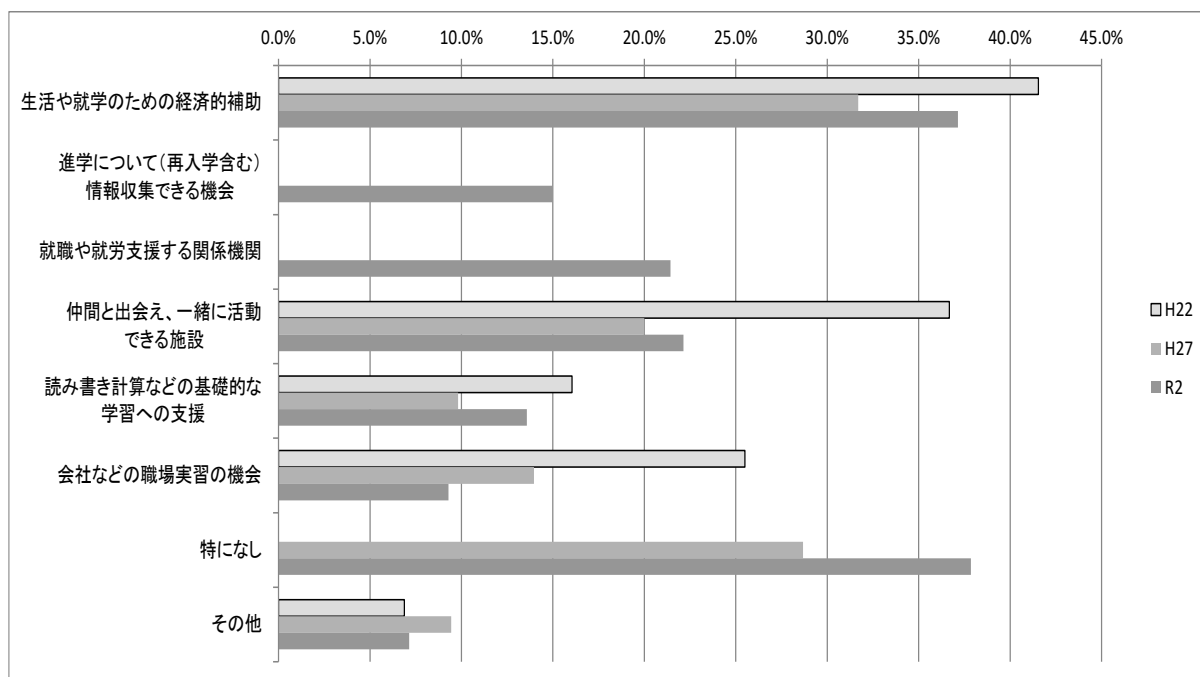


- ・ 「自分で決めることだから」と回答した割合は 45.7%である。
- ・ 「相談できる人がいない」と回答した割合は 23.9%である。
- ・ 「その他」の回答では、「相談しても自分がやりたいと思うことは出来ないと思っていたから」等があった。

(34) 現在のあなたにとって必要なことは何ですか。【複数回答可】

		生活や就学のための経済的補助	進学について(再入学含む)情報収集できる機会	就職や就労支援する関係機関	仲間と出迎え、一緒に活動できる施設	読み書き計算などの基礎的な学習への支援	会社などの職場実習の機会	特になし	その他
H22	人数(人)	145	-	-	128	56	89	-	24
	割合(%)	41.5%			36.7%	16.0%	25.5%		6.9%
H27	人数(人)	84	-	-	53	26	37	76	25
	割合(%)	31.7%			20.0%	9.8%	14.0%	28.7%	9.4%
R2	人数(人)	52	21	30	31	19	13	53	10
	割合(%)	37.1%	15.0%	21.4%	22.1%	13.6%	9.3%	37.9%	7.1%

*回答者に占める割合を示す



- ・ 「生活や就学のための経済的補助」と回答した割合は37.1%と高い。
- ・ 「特になし」と回答した割合は37.9%と最も高い。
- ・ 「その他」の回答では、「これからの事に相談にのってくれる人」「精神的にダメージがきた人や病気で長期休みでも、学力を補強させる事ができる支援や機会」等があった。

前回調査から「特になし」の回答項目を加えた

第4章 調査結果から

■ 分析＜中途退学後の現在の状況と各質問項目との相関について＞

	退学した高校に在学 (再入学)	別の 全日制高校に在学	別の 定時制高校に在学	別の 通信制高校に在学	専修・各種 学校に在学	大学・専門 学校などに 進学	高卒認定 試験受験 (受験準備 含む)	就職(自営 含む)	アルバイト・ フリーター	無職 (無業)	その他
R2 人数(人)	2	2	4	22	4	4	15	13	57	28	7
設問(7)で「希望通りの進路変更ができた」と回答した人数	2	2	4	17	4	4	14	11	36	12	6
当該項目回答者に占める割合(%)	100.0%	100.0%	100.0%	77.3%	100.0%	100.0%	93.3%	84.6%	63.2%	42.9%	85.7%
設問(8)で「やめてよかった」「まあ、やめてよかった」と回答した人数	1	0	4	20	4	3	14	12	44	14	6
当該項目回答者に占める割合(%)	50.0%	0.0%	100.0%	90.9%	100.0%	75.0%	93.3%	92.3%	77.2%	50.0%	85.7%
設問(9)で「将来学校で学びたい」と回答した人数	0	0	0	1	0	0	8	2	18	11	3
当該項目回答者に占める割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	53.3%	15.4%	31.6%	39.3%	42.9%
設問(11)で「高校に進学しなかった」と回答した人数	1	0	4	14	3	2	12	8	37	16	6
当該項目回答者に占める割合(%)	50.0%	0.0%	100.0%	63.6%	75.0%	50.0%	80.0%	61.5%	64.9%	57.1%	85.7%
設問(28)で「高校を退学後、高卒資格が必要」と回答した人数	0	2	4	21	2	4	14	5	43	24	5
当該項目回答者に占める割合(%)	0.0%	100.0%	100.0%	95.5%	50.0%	100.0%	93.3%	38.5%	75.4%	85.7%	71.4%

- ・ 現在「学校に在学・進学、又は高卒認定試験受験」である者は、設問(7)で「希望通りの進路変更が出来た」、設問(28)「高校を退学後、高卒資格が必要(38.5%)」と回答した割合が高い。
- ・ 現在「アルバイト・フリーター」である者は、設問(28)「高校を退学後、高卒資格が必要(75.4%)」と回答した割合が高い。
- ・ 現在「就職(自営含む)」である者は、設問(7)で「希望通りの進路変更が出来た(84.6%)」、設問(8)で「やめてよかった・まあやめてよかった(92.3%)」と回答した割合が高く、設問(9)「将来学校で学びたい(15.4%)」、設問(28)「高校を退学後、高卒資格が必要(38.5%)」と回答した割合が低い。
- ・ 現在「無職(無業)」である者は、設問(7)で「希望通りの進路変更が出来た(42.9%)」、設問(8)「やめてよかった・まあやめてよかった(50.0%)」と回答した割合が低く、設問(28)「高校を退学後、高卒資格が必要(85.7%)」と回答した割合が高い。
- ・ 現在「アルバイト・フリーター」「無職(無業)」である者は、設問(28)高校を退学後、高卒資格が必要」と回答した割合が高いにもかかわらず、設問(9)「将来学校で学びたい」と回答した割合が「アルバイト・フリーター」である者が31.6%、「無職(無業)」である者が39.3%と低い。高卒資格は必要と考えながらも、学校で学ぶことを望んでいない。

【中途退学後の現在の状況について】

設問 (6) 「現在の状況について教えてください」で、「アルバイト・フリーター (40.7%)」「無職 (無業) (18.6%)」と回答した者は、設問 (28) 「高校を退学後は、高校卒業の資格は必要だと考えましたか」で、「必要」と回答した割合が高い。

設問 (26) 「高校を退学した時点では、その後のことについてどのように考えていましたか」で、「アルバイト・フリーターとして働くつもりだった (32.1%)」「どうしていいかわからなかった (17.9%)」と回答した割合が前回調査より高く、そう回答した者は、設問 (28) で、「必要」と回答した割合が高い。

		別の高校に再入学するつもりだった	専門学校に進学するつもりだった	大学に進学するつもりだった	正社員として働くつもりだった	アルバイト・フリーターとして働くつもりだった	しばらく遊ぶつもりだった	進学も仕事もせずに、結婚するつもりだった	どうしていいかわからなかった	その他	不明無回答
R2	人数(人)	28	6	10	8	45	3	0	25	15	0
	割合(%)	20.0%	4.3%	7.1%	5.7%	32.1%	2.1%	0.0%	17.9%	10.7%	0.0%
設問(28)で「高校を退学後、高卒資格が必要」と回答した人数	人数(人)	25	6	9	2	33	2	0	22	11	0
	「当該項目回答者に占める割合(%)	89.3%	100.0%	90.0%	25.0%	73.3%	66.7%	0.0%	88.0%	73.3%	0.0%

退学後の状況が不安定であることから、退学をするに至っては、生徒、保護者と退学後の進路について熟慮を重ねることが大切である。退学を決定する前に、必要に応じて、スクールカウンセラーのカウンセリングを受けたり、スクールソーシャルワーカーを活用して福祉等の外部機関と連携したり、様々な支援を活用することも必要である。また、転学という選択肢や退学したとしても高等学校卒業程度認定試験についてもよく話し合っておくことが必要である。

■ 分析<相談状況について>

【高校に入学するにあたって】

設問 (12) 「中学校の進路指導に、どのようなことを望みますか」で、「進学についての相談を増やしてほしい (37.1%)」「高校を卒業した後の進路や将来の職業について、もっと教えてほしい (32.9%)」、設問 (16) 「高校に入学したときの印象や状況はどのようなものでしたか」で、「自分の能力・適性や趣味にあっている (19.3%)」「自分の将来のためになる (12.9%)」と回答した割合が前回調査より上昇している。中学校では、高校入学を目標とするのではなく、将来を見据えての進路指導が望まれており、そのような進路指導が行われていると推察する。設問 (29) 「高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望みますか」で、「社会に出てから役立つよ

うなことを教えてほしい（31.4%）」「将来の生き方についてもっと教えてほしい（20.0%）」と回答した割合が前回調査より上昇しており、高校には、将来を見据えた生きる力の育成が求められている。生きる力の教育について、高校側から中学校側にもっと情報発信していき、中学校の進路指導に生かし、高校入学後に「自分の能力・適性や趣味にあっている」「自分の将来のためになる」と感じる生徒を増やしていくことが、高校との不適合を防ぎ、中途退学の防止につながると考える。

設問（13）「高校に進学した理由はどのようなものでしたか」で、「保護者など家族の者が勧めたから（31.4%）」、設問（14）「入学する高校を決めるときに役立ったことは何ですか」で、「両親など家族との話し合い（32.1%）」と回答した割合が前回調査から上昇している。この結果から、進路について子供の判断に任せきりになるのではなく、子供と保護者が一緒になって考えている様子が伺える。設問（14）で「高校見学・体験入学など（27.9%）」と回答した割合は、前回調査と同様に高く、保護者が同伴して生徒と一緒に参加している傾向が大きくなっていると考えられる。高校を生徒だけではなく、保護者にも十分理解してから入学してもらうことが重要であり、その観点からも高校見学・体験入学の内容を充実させていく必要がある。

【高校を退学するにあたって】

設問（25）「高校を退学することについて誰と相談しましたか」で、「家族や親せきの人（87.6%）」と回答した割合が高い。この結果から、高校に入学するときに生徒と保護者で一緒に高校見学や体験入学に参加した状況と同様に、中途退学をする前に生徒と保護者が一緒になって高校生活や将来のことについて相談できる機会の設定が中途退学の防止につながると考える。そこで、本県では「高校生活に関する相談会」を年2回実施し、生徒と保護者の相談に応じている。

【高校を退学した後】

設問（33）「高校を退学したあと、自分の進路についてなぜ誰にも相談しなかったのですか」で、「相談できる人がいなかったから（23.9%）」「相談する機関がみつからなかったから（6.5%）」という回答があった。先に述べた「高校生活に関する相談会」は、中途退学した者も対象としているが、そのような情報が中途退学をした者に十分に伝わっていない可能性が高い。さらに多くの方に参加してもらい、相談に応じていけるよう広報活動を研究し、さらに周知していく必要があると考える。

■ 分析＜高校生活について＞

設問(22)「高校を退学することに決めた一番の理由を、次の中から一つだけあげてください」で、「友人等人間関係があわなかったから(22.9%)」と回答した割合が一番多い。設問(16)「高校に入学したときの印象や状況はどのようなものでしたか」で、「友達と楽しく過ごせる(28.6%)」と回答した割合が高いことから、友達との親交を始め、集団生活の中での人間関係が高校生活の満足感を高めていると言える。逆を言えば、設問(16)で、「友達ができない(15.0%)」と回答した割合が上昇していることから、その人間関係をうまく構築できず、高校生活が辛いものとなってしまい、中途退学に至っている状況があると考える。この結果から、コミュニケーション能力を高め、人間関係を構築するスキルを養っていく必要がある。そこで本県では、「高校生の自立支援事業」として、ソーシャルスキルトレーニング等を実施するなどして、社会性を高める取組を行っている。

設問(17)「高校生活の中で楽しかったことは何ですか」で、「友達と話したり一緒に遊んだりしたこと(48.6%)」「文化祭に参加したこと(20.7%)」「修学旅行・遠足などに参加したこと(20.0%)」「体育祭に参加したこと(13.6%)」、設問(29)「高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望みますか」で、「いじめなどがなく、先生や友人と語り合える楽しい雰囲気がほしい(35.0%)」「学校行事を充実してほしい(17.1%)」と回答した割合が高い。この結果から、学校行事を充実させるなどして、生徒同士、生徒と教員のコミュニケーションの機会や生徒の達成感、自己有用感を醸成させる機会をさらに増やすことが求められている。

設問(17)で、「先生と一緒に話したりしたこと(15.0%)」、設問(29)で「もっと先生に相談に乗ってほしい(17.9%)」と回答した割合が過去の調査より高く、新しい質問項目である設問(19)「在学していた高校で心を打ち明けて相談できる人は以下の中にいましたか」で、「担任の先生(27.1%)」「保健室の先生(10.0%)」と回答した割合が高いことから、教員一人一人の相談力をさらに向上させる必要があると考える。本県では、年次研修や専門研修にて教育相談の資質・能力を向上させる研修を各種実施している。特に養護教諭は、所属校での教育支援体制のコーディネーター的役割についても研修をしている。

設問(30)「中途退学を考えたときに学校に支援してほしいことが以下の中にありますか」で、「スクールカウンセラー等専門職からの心のケア(20.7%)」と回答した割合が高く、スクールカウンセラー等専門職の活用をさらに推進していく必要がある。

教員一人一人の教育相談力を向上させるとともに、スクールカウンセラー等専門職

の知見を支援に生かしていくなど、学校全体での教育相談力の向上を組織的に図っていくことが必要であると考える。

■ 分析<授業・学習支援について>

設問(18)「高校の授業の内容についてどう思いましたか」で、「大変分かりやすかった(7.9%)」「まあ分かりやすかった(25.0%)」「ちょうどよかった(26.4%)」と回答した割合の合計が6割程度と過去の調査に比較して高い。これは、設問(16)「高校に入学したときの印象や状況はどのようなものでしたか」で、「勉強が難しい(15.0%)」と回答した割合が過去の調査より低く、新たな質問選択肢である「勉強が楽しい(9.3%)」という回答の割合からも伺え、入学当初の中学校と高校での勉強の違いによるつまずきが減少している。また、設問(17)「高校生活の中で楽しかったことは何ですか」で、「好きな教科・科目を勉強したこと(22.9%)」と回答した割合が過去の調査より高いことから、入学した後も勉強に対する興味・関心が損なわれていない。これは、改訂された学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」の授業が小学校、中学校、高校と一体となって実践されており、生徒の学習意欲が高められていることが要因として考えられる。

実際、設問(22)「高校を退学することに決めた一番の理由を、次の中から一つだけあげてください」で、「授業が難しかったから(授業についていけなかったから)(2.9%)」、設問(29)「高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望みますか」で、「授業の内容をわかりやすく教えてほしい(21.4%)」と回答した割合は、過去の調査から減少傾向にあり、授業についていけず、学力不振によって中途退学に至るといった傾向から大きく変わってきている。

(4) 現在の状況は、高校を退学したときの希望通りの状況ですか。

		希望どおりの進路変更ができた	希望どおりになっていない	不明無回答	合計
R2	人数(人)	94	46	0	140
	割合(%)	67.1%	32.9%	0.0%	100%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	33	20	0	53
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	62.3%	37.7%	0.0%	100%

- ・ 中学時代不登校傾向の者のうち、「希望どおりになっていない」と回答した割合は37.7%である。中途退学者全体と比較し、4.8ポイント高い。

(5) 高校を退学したことについて現在どのように考えていますか。

		やめてよかった	まあ、やめてよかった	まあ、やめなければよかった	やめなければよかった	不明無回答	合計
R2	人数(人)	56	49	20	15	0	140
	割合(%)	40.0%	35.0%	14.3%	10.7%	0.0%	100%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	17	21	7	8	0	53
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	32.1%	39.6%	13.2%	15.1%	0.0%	100%

- ・ 中学時代不登校傾向の者のうち、「まあ、やめなければよかった」「やめなければよかった」と回答した割合の合計は32.9%である。中途退学者全体の割合と比較し、4.7ポイント高い。

(6) 入学した高校は、志望した高校でしたか。

		志望どおり	まあ志望どおり	あまり志望どおりではなかった	全く志望どおりではなかった	不明無回答	合計
R2	人数(人)	55	41	22	22	0	140
	割合(%)	39.3%	29.3%	15.7%	15.7%	0.0%	100%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	18	18	9	8	0	53
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	34.0%	34.0%	17.0%	15.1%	0.0%	100%

(7) 高校に入学してみて、どう思いましたか。【複数回答可】

		自分の能力・適性や趣味にあっている	勉強が難しい	勉強が楽しい	校則が厳しい	自分の将来のためになる	高校の先生は厳しい(冷たい)	友達と楽しく過ごせる	友達ができない	特に何も思わなかった	その他
H22	人数(人)	29	94	-	116	37	69	108	37	74	42
	割合(%)	8.3%	26.9%		33.2%	10.6%	19.8%	30.9%	10.6%	21.2%	12.0%
H27	人数(人)	31	69	-	79	17	57	91	31	56	35
	割合(%)	11.7%	26.0%		29.8%	6.4%	21.5%	34.3%	11.7%	21.1%	13.2%
R2	人数(人)	27	21	13	39	18	20	40	21	29	18
	割合(%)	19.3%	15.0%	9.3%	27.9%	12.9%	14.3%	28.6%	15.0%	20.7%	12.9%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	15	8	7	11	8	2	15	6	11	6
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	28.3%	15.1%	13.2%	20.8%	15.1%	3.8%	28.3%	11.3%	20.8%	11.3%

*回答者に占める割合を示す

- ・ 中学時代不登校傾向の者のうち、「自分の能力・適性や趣味にあっている」と回答する割合は28.3%と、中途退学者全体の割合と比較し、9.0ポイント高い。

(8) 高校の授業の内容についてどう思いましたか。

		大変分かりやすかった	まあ分かりやすかった	ちょうどよかった	やや分かりにくかった	大変分かりにくかった	不明無回答	合計
H12	人数(人)	20	25	34	52	34	1	166
	割合(%)	12.0%	15.1%	20.5%	31.3%	20.5%	0.6%	100%
H17	人数(人)	8	20	18	41	16	2	105
	割合(%)	7.6%	19.0%	17.1%	39.0%	15.2%	1.9%	100%
H22	人数(人)	23	59	96	98	63	12	351
	割合(%)	6.6%	16.8%	27.4%	27.9%	17.9%	3.4%	100%
H27	人数(人)	25	65	40	68	55	13	266
	割合(%)	9.4%	24.4%	15.0%	25.6%	20.7%	4.9%	100%
R2	人数(人)	11	35	37	36	21	0	140
	割合(%)	7.9%	25.0%	26.4%	25.7%	15.0%	0.0%	100%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	7	13	14	12	7	0	53
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	13.2%	24.5%	26.4%	22.6%	13.2%	0.0%	100%

- ・ 中学時代不登校傾向の者は「大変分かりやすかった」「まあ分かりやすかった」と回答した割合の合計が37.7%と、中途退学者全体の割合と比較し、4.8ポイント高い。

(9) 在学していた高校で心を打ち明けて相談できる人は以下の中にいましたか。

【複数回答可】

		担任の先生	学年主任の先生	保健室の先生	相談員・スクールカウンセラー	友人	その他
R2	人数(人)	38	6	14	5	62	45
	割合(%)	27.1%	4.3%	10.0%	3.6%	44.3%	32.1%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	15	2	4	2	21	21
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	28.3%	3.8%	7.5%	3.8%	39.6%	39.6%

- ・ 中学時代不登校の傾向の者は「担任の先生」と回答した割合は28.3%と、中途退学者全体と比較し、1.2ポイント高い。
- ・ 中学時代不登校の傾向の者は「友人」と回答した割合は39.6%と、中途退学者全体と比較し、4.7ポイント低い。

(10) 高校の校則やきまりはどうでしたか。

		大変厳しかった	やや厳しかった	あまり厳しくなかった	全く厳しくなかった	不明・無回答	合計
H12	人数(人)	36	45	54	31	0	166
	割合(%)	21.7%	27.1%	32.5%	18.7%	0.0%	100%
H17	人数(人)	28	35	29	12	1	105
	割合(%)	26.7%	33.3%	27.6%	11.4%	1.0%	100%
H22	人数(人)	107	102	92	45	5	351
	割合(%)	30.5%	29.1%	26.2%	12.8%	1.4%	100%
H27	人数(人)	77	82	52	25	30	266
	割合(%)	28.9%	30.8%	19.5%	9.4%	11.3%	100%
R2	人数(人)	35	47	37	21	0	140
	割合(%)	25.0%	33.6%	26.4%	15.0%	0.0%	100%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	9	15	16	13	0	53
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	17.0%	28.3%	30.2%	24.5%	0.0%	100%

- ・ 中学時代不登校傾向の者のうち、「大変厳しかった」と回答した割合は17.0%である。

(11) 在学中に高校を退学することについてどのように考えていましたか。

		やめたかった	まあ、やめたかった	まあ、やめたくなかった	やめたくなかった	不明・無回答	合計
R2	人数(人)	69	32	20	19	0	140
	割合(%)	49.3%	22.9%	14.3%	13.6%	0.0%	100%
中学時代 不登校傾向 の者	人数(人)	28	11	8	6	0	53
	不登校傾向の 者総数に対す る割合(%)	52.8%	20.8%	15.1%	11.3%	0.0%	100%

(12) 高校を退学することについて誰かに相談しましたか。

		した	しなかった	不明・無回答	合計
R2	人数(人)	105	35	0	140
	割合(%)	75.0%	25.0%	0.0%	100%
中学時代 不登校傾向 の者	人数(人)	36	17	0	53
	不登校傾向の 者総数に対す る割合(%)	67.9%	32.1%	0.0%	100%

- ・ 中学時代不登校傾向の者のうち、「しなかった」と回答した割合は32.1%と、中途退学者全体の割合と比較し、7.1ポイント高い。

(13) 高校を退学したあと、自分の進路について、誰かに相談しましたか。

		した	しなかった	不明・無回答	合計
R2	人数(人)	90	50	0	140
	割合(%)	64.3%	35.7%	0.0%	100%
中学時代 不登校傾向 の者	人数(人)	29	24	0	53
	不登校傾向の 者総数に対す る割合(%)	54.7%	45.3%	0.0%	100%

- ・ 中学時代不登校傾向の者のうち、「しなかった」と回答した割合は45.3%と、中途退学者全体の割合と比較し、9.6ポイント高い。

(14) 次のことは、あなたにとって必要ですか。【複数回答可】

		生活や就学のための経済的補助	進学について(再入学含む)情報収集できる機会	就職や就労支援する関係機関	仲間と出会い、一緒に活動できる施設	読み書き計算などの基礎的な学習への支援	会社などの職場実習の機会	特になし	その他
H22	人数(人)	145	-	-	128	56	89	-	24
	割合(%)	41.5%			36.7%	16.0%	25.5%		6.9%
H27	人数(人)	84	-	-	53	26	37	76	25
	割合(%)	31.7%			20.0%	9.8%	14.0%	28.7%	9.4%
R2	人数(人)	52	21	30	31	19	13	53	10
	割合(%)	37.1%	15.0%	21.4%	22.1%	13.6%	9.3%	37.9%	7.1%
中学時代不登校傾向の者	人数(人)	29	12	8	25	12	6	13	5
	不登校傾向の者総数に対する割合(%)	54.7%	22.6%	15.1%	47.2%	22.6%	11.3%	24.5%	9.4%

*回答者に占める割合を示す

- 中学時代不登校傾向の者のうち、「生活や就学のための経済的補助」と回答した割合は54.7%と最も高い。
- 中学時代不登校傾向の者は、中途退学者全体の割合と比較し、「仲間と出会い、一緒に活動できる施設」の回答の割合が25.1ポイント、「読み書き計算などの基礎的な学習への支援」の回答の割合が9.0ポイント、「進学について(再入学含む)情報収集できる機会」の回答の割合が7.6ポイント高い。

【不登校支援について】

中学時代不登校傾向の生徒が中途退学者の4割近くを占めている。不登校は中途退学につながる大きな要因になっていると考えられる。本県では、中途退学防止と併せて不登校支援のために、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及び教育相談員を配置し、学校組織としての教育相談体制の整備に努めている。

令和2年度からは不登校支援サイトを開設し、不登校支援のための情報を発信し、生徒、保護者の支援を行っている。このサイトでは、教職員の相談力向上にもつながる講義動画も配信している。

また、SNS相談、よい子の電話教育相談にて、24時間悩みを抱える生徒を支援できる体制をとっている。

生徒の心の声を聞き漏らさず、相談に応じられるようこのような支援をさらに整備していくことが必要であると考えます。

おわりに

本県の公立高等学校中途退学者数・中途退学率は、前回調査のときの平成26年度では、中途退学者1,929人、中途退学率1.5%という値でしたが、令和元年度では、中途退学者1,333人、中途退学率1.1%という値まで下げることができました。これも、一人一人の生徒に寄り添った丁寧な対応を継続的にされてきた各学校の努力の成果によるものと、改めて感謝申し上げます。

さて、今回の調査で、学業不振で中途退学になる者に対して、人間関係がうまくいかず高校生活に馴染めず中途退学になる者の割合が上昇していることが分かりました。高校生活の中で楽しかったこととして、友人と話したり、一緒に遊んだりしたこと、学校行事と回答した割合が高い中で、人間関係がきっかけとなってしまい中途退学に至ることは大変悲しいことです。コミュニケーション能力や協調性を養い、人間関係を円滑に築いていける支援が必要です。また、普段から人間関係の悩みに気付いて声を掛けたり、学校全体として気軽に相談できる雰囲気作りがとても重要です。

このような現状を踏まえ、本県では、高等学校に入学した1年生に対して、高校生活への目的意識を高めるために、「高校生自立支援事業」として、地域若者サポートステーションと連携し、生徒の特性把握、ソーシャルスキルトレーニング及び社会体験活動を、希望する学校の実情に応じて相談・協議し実施しております。また、生徒が抱える課題の解決や改善のためのスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及び教育相談員を配置し、学校組織として、教育相談体制の強化が図られるよう活用を推進してまいりました。

中途退学後は、アルバイト・フリーターや無職（無業）と不安定な状況にある者が多く、中途退学は、高校生一人一人の人生を大きく左右する重要な問題であります。この問題解決に向けて、中学校や高等学校、家庭や地域、さらには行政が連携し、時代の変化に応じて変化していく生徒の悩みに柔軟に対応し、組織として取り組んでいく必要があると改めて確認したところです。今後とも、生徒のために御協力をいただきたくお願い申し上げます。

最後に、今回の調査に御協力いただいた各県立高等学校と、アンケートに御回答いただきました皆さんや御家族の方に、御礼申し上げます。

令和3年3月

教育局県立学校部生徒指導課長 中沢 政人

事務局

生徒指導課 非行・中退防止担当

主幹 田中 雅人

指導主事 宮木 健一

指導主事 長谷部福一



生きる力を育て 志守な 絆を深める埼玉教育